

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第1章 バーコードリーダーをパソコンで使えるようにしよう！

1：パソコンにバーコードリーダーを導入する

1：パソコンにバーコードリーダーを導入する

ここでは、パソコンを起動してWindows XPのデスクトップが表示されている状態から操作を行います。これから「USB BARScan」というバーコードリーダー(USBポートを使って接続するタイプ)をパソコンに接続して、このパソコンで利用できるように設定してみましょう。



◎バーコードリーダー 「USB BARScan」

【手順1：バーコードリーダーの接続】

パソコンのUSBポートにバーコードリーダーの接続プラグを差し込みます。



1.USBポートに差し込む

パソコンの種類によって、USBポートの位置や数が異なります。

【手順2：ドライバの自動インストール】

OSに用意されたバーコードリーダーの標準ドライバが自動的にインストールされるのを確認します。



Windows98の場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」というダイアログボックスが表示されるので、メッセージに従ってドライバをインストールします。

【結果：インストールの終了】

バーコードリーダーのドライバが正しくインストールされ、バーコードリーダーをパソコンで利用できるようになりました。



◆素朴な質問コーナー

◇Q バーコードリーダーは、どんなパソコンにも使えるのですか？

◇A Windows98/Me/2000/XPのいずれかがインストールされており、かつUSBポートを備えたパソコンであれば利用することができます。ただし、「NEC製 ビジネスノート Versa PRO シリーズ」などのごく一部の機種では、利用できないことが報告されています。株式会社テクニカルでは、USB BARScanの貸出機を用意していますので、最初に利用する際は貸出機を使って動作確認を行ってから、ご購入されることをお勧めします。

◇Q 別途に専用のドライバをインストールしなくてもいいのですか？

◇A バーコードリーダーをパソコンのUSBポートに差し込むと、OSが自動的に標準のドライバ(※)を検出してインストールするために、別途で専用ドライバをインストールする必要はありません。

※このドライバは、Windows98/Me/2000/XPで用意されています。

◇Q ドライバが正しくインストールできたかどうかを確認する方法はありますか？

◇A コントロールパネルの「デバイスドライバ」から確認することができます。たとえば、上記でインストールしたドライバが正しく動作しているかどうかを確認するには、次のように操作します(Windows XPの場合)。

【手順1】 バーコードリーダーをパソコンに接続します。

【手順2】 [スタート]→[コントロールパネル(C)]を選択します。

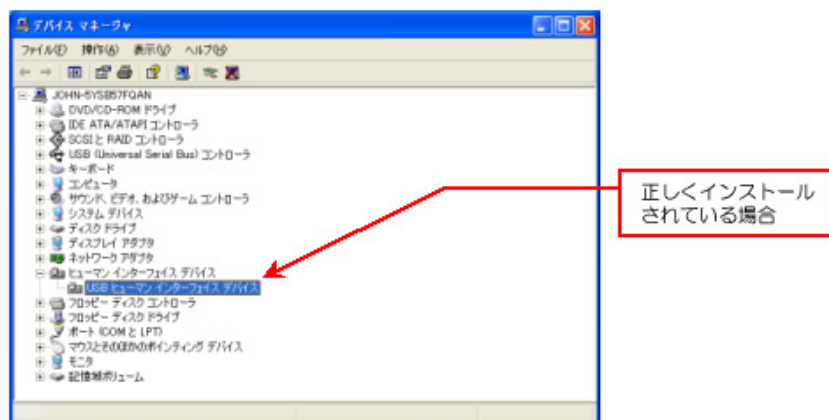
【手順3】 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をクリックします。

【手順4】 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスマネージャ(D)]ボタンをクリックします。

【手順5】 ツリー上にある「ヒューマンインターフェイス デバイス」をダブルクリックし、この下に「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されておれば、ドライバが正しくインストールされています。

※Windows Meの場合は、OSの仕様上の問題で「USBヒューマンインターフェイスデバイス」に「？」マークが付加されま

すが、実際の利用には支障ありません。



[テクニカル トップページ](#)|[各種製品のご案内](#)|[製品価格一覧表](#)|[製品の修理について](#)|[お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks
バーコード活用編

USB
BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第2章 バーコードをワークシートに入力してみよう！

1：バーコードリーダーで読み取ったバーコードの値をセルに入力する

■ 1：バーコードリーダーで読み取ったバーコードの値をセルに入力する

ここでは、Excelを起動して「棚卸表.xls」というワークシートが表示された状態から操作を行います。これから、商品台帳に印刷されたバーコードの値(商品コード)をバーコードリーダーで読み取り、この値を棚卸表の「商品コード」欄の各セルに自動入力してみましょう。

商品コード	商品名	仕入価格	販売価格	ケース	CODE39
A1251	トータルホディーエクササイズ	¥679	¥700	1	
A1451	アロエスキンクリーム 200g	¥155	¥170	1	
B0205	新不燃な炭はくつ下	¥485	¥500	1	
B0206	バスキッチンサット2P	¥388	¥400	1	
B0207	さわやか歯ブラシP	¥83	¥85	1	
C0781	バスタオルアソート	¥189	¥195	1	
C0792	エココン洗淨スプレー	¥97	¥100	1	
E2132	健康サンダル	¥17	¥180	1	
E2589	新うるおい石鹸2P	¥54	¥58	1	
F0690	アロエゲルソープ	¥340	¥360	1	
G3315	マイナスイオン風呂敷カバー	¥931	¥950	1	
H8751	ジャガード織大巾バスタオル	¥155	¥160	1	

商品台帳のバーコード
(商品コードが記録されている)



	B19				
	A	B	C	D	E
1	棚卸表				
2	No.	商品コード	商品名	数量	単価
3	1	A1251			
4	2	A1451			
5	3	B0205			
6	4	B0206			
7	5	B0207			
8	6	C0781			
9	7	C0792			
10	8	E2132			
11	9	E2589			
12	10	F0690			
13	11	G3315			
14	12	H8751			
15	13	H8547			
16	14	P0072			
17	15	S1257			
18	16	T2580			
19	17				
20	18				

読み取った値を「商品
コード」のセルに入力
する

【手順1：入力対象のセルへのカーソル移動】

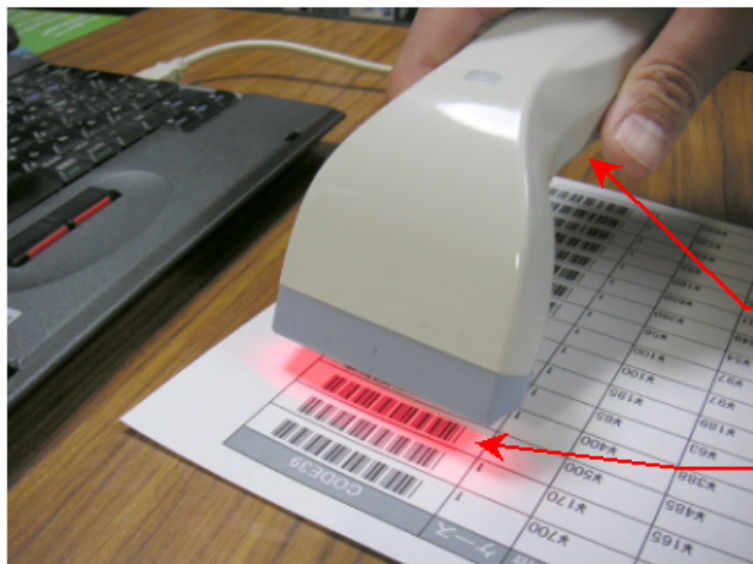
バーコードの値を入力するセル(商品コード欄の先頭)にカーソルを移動します。

E3					
	A	B	C	D	E
1	棚卸表				日付
2	No.	商品コード	商品名	数量	単価
3	1				
4	2				
5	3				
6	4				
7	5				
8	6				
9	7				

1.セルB3をクリックする

【手順2：バーコードの読み取り】

バーコードリーダーを使って、商品台帳のバーコードを読み取ります。



1.読み取りスイッチを押す

2.読み取り口をバーコードに近づける



読み取りスイッチを押すと、本体のランプが点灯して読み取り可能な状態となります。この後、正しく読み取られたときは「ピッ」という音が鳴って、本体のランプが消灯します。なお、読み取りスイッチを押してから何もせずに15秒以上経過すると、自動的に本体のランプが消灯するので再度読み取りスイッチを押してください。

【結果：読み取った値の確認】

読み取ったバーコードの値(商品コード)がセルB3に入力されました。読み取った後は、カーソルが自動的に下のセルに移動します。

	A	B	C	D	E
1	棚卸表				日付
2	No.	商品コード	商品名	数量	単価
3	1	A1251			
4	2				
5	3				
6	4				
7	5				
8	6				
9	7				

バーコードの値(商品コード)が入力された

カーソルは下のセルに移動する



続けて、別のバーコードを読み取りたいときは、ここで行った操作を繰り返してください。

◆素朴な質問コーナー

◇Q そもそもなぜバーコードリーダーを使うとセルに値が入力されるのですか？

◇A パソコン側から見れば、バーコードリーダーはマウスやキーボードと同じ「入力するための装置」として見なされます。したがってキーボードを叩いたときと同じように、バーコードを読み取ることで値がパソコンに取り込まれる仕組みになっているのです。ただ、マウスやキーボードと異なるのは「バーコードの内容を解析して、これを数値や文字列に変換して入力できる」という点です。これにより、バーコードに記録された値を瞬時にセルに入力できるのです。

◇Q セルに入力した後、カーソルをすぐ右横のセルに移動したいのですが？

◇A 「USBBarcodeScan」の初期設定では、読み取ったバーコードの値に改行コード(CR/LF)が付加されてパソコンに送り出されます。したがってバーコードを読み取った後は、キーボードから値を入力して[Enter]キーを押したときと同じように、すぐ下のセルにカーソルが移動するように設定されています。

バーコードを読み取った後にすぐ右側のセルにカーソルを移動させたい場合は、「USB BarcodeScan FAQ Q03-06」(<http://www.technical.jp/usbbarscan/faq.html#q03-06>)の方法で、改行コード(CR/LF)をTABに変更します。

◇Q バーコードの商品コードを入力すると、商品名も自動入力することはできませんか？

◇A VLOOKUP関数を使うと、入力したセルの値をもとに、他のワークシートやブックのデータを参照することができます。たとえば、このサンプルで使用した「棚卸表.xls」から商品コード(B列)を入力すると、同じブックの「Sheet2」にある商品台帳の商品名を取り出して、これを商品名(C列)に表示させるには、次のように操作します。

【手順1】「Sheet1」をクリックし、棚卸表を表示します。

【手順2】セルC3をクリックし、「=VLOOKUP(B3,」と入力します。

【手順3】「Sheet2」をクリックし、商品台帳のデータを表示します。

【手順4】セルA2からセルB17までのセル範囲(商品コードと商品名が入力されているセル範囲)をドラッグして選択します。

【手順5】数式バーをクリックし、すでに自動入力されている「=VLOOKUP(B3,Sheet2!A2:B17」の後に、「,2,FALSE)」と入力します。

※この操作を行うと、自動的に「Sheet1」に戻り、セルC3には「=VLOOKUP(B3,Sheet2!A2:B17,2,FALSE)」という数式が入力されます。

【手順6】セルC3に入力された数式を、他のセル範囲(C4～C20)にコピーします。

B10				
	A	B	C	
1	棚卸表			
2	No.	商品コード	商品名	数量 単価
3	1	A1251	トータルボディーエクサイザー	
4	2	A1451	アロエスキンクリーム 200g	
5	3	B0205	新不思議な魔法くつ下	
6	4	B0206	バスキッチンマット2P	
7	5	B0207	さわやか歯ブラシ5P	
8	6	C0781	バスタオルアソート	
9	7	C0792	エアコン洗浄スプレー	
10	8		#N/A	
11	9		#N/A	
12	10		#N/A	
13	11		#N/A	
14	12		#N/A	
15	13		#N/A	
16	14		#N/A	
17	15		#N/A	

◎ 「Sheet1」の棚卸表



A2					
	A	B	C	D	E
1	商品コード	商品名	仕入価格	販売価格	ケース
2	A1251	トータルボディーエクサイザー	¥679	¥700	1
3	A1451	アロエスキンクリーム 200g	¥165	¥170	1
4	B0205	新不思議な魔法くつ下	¥489	¥500	1
5	B0206	バスキッチンマット2P	¥63		
6	B0207	さわやか歯ブラシ5P	¥189		
7	C0781	バスタオルアソート	¥97		
8	C0792	エアコン洗浄スプレー	¥97		
9	E2132	健康サンダル	¥54	¥55	1
10	E2589	新うるおい石鹸2P	¥349	¥360	1
11	F0690	アロエボディソープ	¥631	¥650	1
12	G3315	マイナスイオン扇風機カバー	¥155	¥160	1
13	H8751	ジャガード織太判バスタオル	¥53	¥55	1
14	H8547	ジャガード織フェイスタオル	¥437	¥450	1
15	F0072	ふとん圧縮パック	¥223	¥230	1
16	S1257	ホアクッション	¥631	¥650	1
17	T2580	スリッパブラック			

◎ 「Sheet2」の商品台帳のリストデータ

◎ ここで入力した数式

=VLOOKUP (B3, Sheet2!A2:B17, 2, FALSE)

検索範囲(「Sheet2」の商品コードと商品名が入力されているセル範囲)

取り出す列番号

検索の型(FALSEにすると、一致した値がないときはエラー値を返す)

◇VLOOKUP関数を使うときのポイント!

VLOOKUP関数は、[検索値]をもとに[検索範囲]の左端列と一致する値を検索し、一致する値が見つかった場合は、同じ行にある目的のセル(左端から[列番号]目となるセル)の値を取得し、「=VLOOKUP(検索値,検索範囲,検索する列番号,検索の型)」

の書式で記述します。このとき、[検索の型]にFALSEを指定すると検索値に一致する値だけを検索し、TRUEを指定すると検索値がない場合は1件前の値が取得されます。このため、TRUEで検索する場合は検索値で並べ替えておく必要があります。

なお、ここではVLOOKUP関数の使い方をわかりやすく説明するために、上記のような数式で記述しましたが、この式では[検索値]が未入力の場合は検索結果のセルに「#N/A」とエラー表示されてしまいます。このエラー表示を回避するには、IF関数とISBLANK関数を組み合わせて[検索値]が未入力のときは空白("")を表示するようにします。サンプルでは、セルC3に「=IF(ISBLANK(B3),"",VLOOKUP(B3,Sheet2!A2:B17,2,FALSE))」と記述することで、商品コード欄(B列)が空白の場合は商品名欄(C列)も空白のままとすることができます。

C3		=VLOOKUP(B3,Sheet2!A2:B17,2,FALSE)				
	A	B	C	D	E	
1	棚卸表				日付	
2	No	商品コード	商品名	数量	単価	金額
3	1	A1251	トータルボディーエクサイザー			
4	2	A1451	アロエスキングリーム 200g			
5	3		#N/A			
6	4		#N/A			
7	5		#N/A			
8	6		#N/A			
9	7		#N/A			
10	8		#N/A			

商品コード欄(B列)が空白の場合は「#N/A」とエラーが表示される！



C3		=IF(ISBLANK(B3),"",VLOOKUP(B3,Sheet2!A2:B17,2,FALSE))				
	A	B	C	D	E	
1	棚卸表				日付	
2	No	商品コード	商品名	数量	単価	金額
3	1	A1251	トータルボディーエクサイザー			
4	2	A1451	アロエスキングリーム 200g			
5	3					
6	4					
7	5					
8	6					
9	7					
10	8					

エラー表示を回避する

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

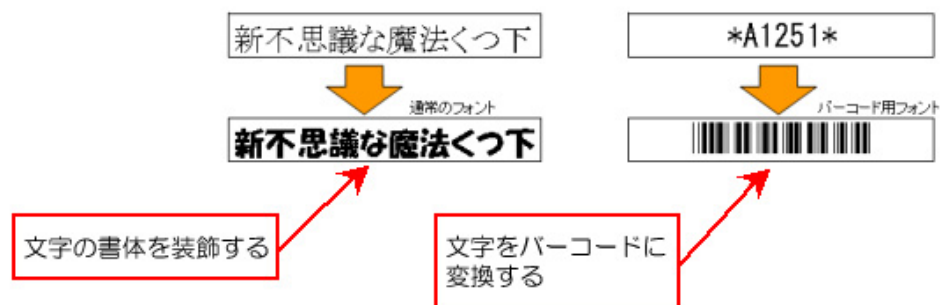
第3章 ワークシートにバーコードを表示させてみよう！

- 1：バーコード用フォントとは | [2：バーコード用フォントをインストールする](#)
[3：入力した商品コードの値をバーコードに変換して別のセルに表示する](#)

1：バーコード用フォントとは

バーコード用フォントとは、数値や文字列の値をバーコードの書式に変換して表示するためのフォントです。通常のフォントが文字の書体を『装飾』するのに対して、バーコード用フォントでは文字をまったく異なる外観(バーコード)に『変換』するのが特徴です。

バーコード用フォントでは、使用するバーコードの種類(規格)によってフォントの種類も異なります。株式会社テクニカルでは、一般的によく使われている「CODE39」「CODE128」「NW-7」の3種類のバーコード用フォントを無償で提供しています。これらのフォントは、[「バーコードフォント」](#)のページからダウンロードすることができます。なお、これらのフォントはWindows環境でのみ利用可能です。



[テクニカル トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第3章 ワークシートにバーコードを表示させてみよう！

- [1：バーコード用フォントとは](#) | [2：バーコード用フォントをインストールする](#)
[3：入力した商品コードの値をバーコードに変換して別のセルに表示する](#)

2：バーコード用フォントをインストールする

ExcelのワークシートやWordの文書などでバーコードを表示させるには、バーコード用フォントをWindowsの「フォント」にインストールする必要があります。インストールしたバーコード用フォントは、通常のフォントと同じように文字や数値に設定して利用することができます。たとえば、上記のページからダウンロードした「CODE39」規格のバーコード用フォント「CODE39.ttf」を利用できるようにするには、Windows XPでデスクトップを表示した状態から次のように操作します。※ここでは、ダウンロードした「CODE39.ttf」をCドライブの「Temp」フォルダに保存していることとします。

【手順1：「コントロールパネル」ウィンドウの表示】

- ・[スタート]→[コントロールパネル(C)]を選択します。
- ※Windows98/Me/2000の場合は、[スタート]→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]を選択します。

【手順2：「フォント」ウィンドウの表示】

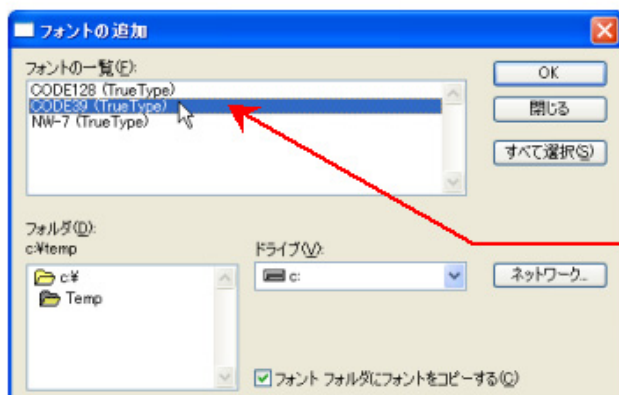
- ・「デスクトップの表示とテーマ」アイコンをクリックします。
 - ・表示された「デスクトップの表示とテーマ」ウィンドウの左上にある「フォント」をクリックします。
- ※Windows98/Me/2000の場合は、「フォント」アイコンをダブルクリックします。

【手順3：「フォントの追加」ダイアログボックスの表示】

- ・[フォント(F)]→[新しいフォントのインストール(I)]を選択します。

【手順4：目的のバーコード用フォントのインストール】

- ・[ドライブ(V)]には「Cドライブ」を選択します。
- ・[フォルダ(D)]には「Temp」フォルダを選択します。
- ・[フォントの一覧(F)]の中から「CODE39 True Type」を選択します。
- ・[OK]ボタンをクリックします。



「CODE39」規格のバーコード用
フォントをインストールする

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第3章 ワークシートにバーコードを表示させてみよう！

- [1：バーコード用フォントとは](#) | [2：バーコード用フォントをインストールする](#)
[3：入力した商品コードの値をバーコードに変換して別のセルに表示する](#)

3：入力した商品コードの値をバーコードに変換して別のセルに表示する

ここでは、Excelを起動して「発注表.xls」というワークシートが表示された状態から操作を行います。これから、バーコード用フォント(CODE39)を使って、このワークシートの商品コード欄(B列)に入力された5桁の値に、スタート/ストップキャラクター「*」を前後に付加した計7桁の値をもとにして、E列の各セルにバーコードを表示してみましょう。

	A	B	C	D	E	F
1	発注シート			発注日	2005/7/14	
2	No.	商品コード	商品名	注文数	バーコード	
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,567		
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014		
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369		
6	4	BF256	退色防止マーカー黄	3,123		
7	5	BF266	退色防止マーカー赤	689		
8	6	BS701	強化消しゴム	1,514		
9	7	CK525	チタンクリップ中	1,021		
10	8	CK515	チタンクリップ小	972		
11	9	CK545	チタンクリップ特大	883		
12	10	DR751	仕事効率手帳Aタイプ	654		
13	11	DR851	仕事効率手帳Bタイプ	4,851		
14	12	KS120	DVDクリアケース	962		

各セルにバーコード(CODE39)を表示する

【手順1：バーコードの値の編集】

B列の商品コードの前後にスタート/ストップキャラクター「*」を付加します。

	A	B	C	D	E	F
1	発注シート			発注日	2005/7/14	
2	No.	商品コード	商品名	注文数	バーコード	
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,567	* * & B3 & *	
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014		
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369		

1.セルE3に
「=* & B3 & *」
と入力する



セルの値に特定の文字列を結合するには「&」結合子を使います。このとき、結合する文字列は「"」(ダブルクォーテーション)で囲みます。

【手順2：バーコード用フォントの適用】

セルE3のフォントを「CODE39」規格のバーコード用フォントに変更します。



1.セルE3をクリックする

2.バーコード用フォントに変更する



バーコード用フォントは、選択するフォントリスト内ではバーコードの書式で表示されます。

【手順3：セルの設定情報のコピー】

セルE3に設定したセルの情報を、同じ列の他のセル範囲にコピーします。

1	発注シート		発注日	2005/7/14
2	No.	商品コード	商品名	注文数
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,587
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369
6	4	BF256	退色防止マーカー黄	3,128
7	5	BF266	退色防止マーカー赤	694
8	6	BS701	強化消しゴム	1,510
9	7	CK625	チタンクリップ中	1,022
10	8	CK615	チタンクリップ小	92
11	9	CK645	チタンクリップ特大	885
12	10	DR751	仕事効率手帳Aタイプ	650
13	11	DR851	仕事効率手帳Bタイプ	4,850
14	12	KS120	DVDクリアケース	999

1.セルE3をクリックし、フィルハンドル(■)で左ボタンを押す

2.ここまでドラッグし、左ボタンを離す

【結果：各セルへのバーコードの表示】

E列の各セルにバーコードが表示されました。このように、セルのフォントの種類をバーコード用フォントに変更する簡単な操作だけで、セルにバーコードを表示することができます。ただし、バーコードを印刷する際は、バーコードリーダーで読み取りやすいようにセルの書式を変更する必要があります。セルに表示させたバーコードを印刷する方法は、次の4章(4-1)の解説を参照してください。

1	発注シート		発注日	2005/7/14
2	No.	商品コード	商品名	注文数
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,587
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369
6	4	BF256	退色防止マーカー黄	3,128
7	5	BF266	退色防止マーカー赤	694
8	6	BS701	強化消しゴム	1,510
9	7	CK625	チタンクリップ中	1,022
10	8	CK615	チタンクリップ小	92
11	9	CK645	チタンクリップ特大	885
12	10	DR751	仕事効率手帳Aタイプ	650
13	11	DR851	仕事効率手帳Bタイプ	4,850
14	12	KS120	DVDクリアケース	999

バーコードが表示された

◆素朴な質問コーナー

◇Q たとえば商品コードが「1」～「99999」までの数値の場合に、これを5桁に固定してからバーコードを表示することはできますか？

◇A TEXT関数を使って、指定した桁数に満たない数値のときは左端を0で埋めるように編集すると、桁数にばらつきのある数値データを固定の桁数で表示することができます。たとえば、サンプルで使用した「発注表.xls」の商品コード欄が数値(最大「99999」とする)のときに、これらの値を5桁に固定してE列に表示するには、セルE3に「=TEXT(B3,"00000")」と入力します(例:「123」のときは「00123」となる)。このように、バーコードの値の桁数を揃えたいときは、TEXT関数を使うと便利です。

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第4章 バーコードを印刷してみよう！

1：バーコードが表示された表を印刷する | [2：Wordの差し込み印刷を使って、商品ラベルをバーコード付きで印刷する](#)
3：差し込み印刷の参照元となるワークシートの作成 | [4：差し込み印刷を行うための設定](#)

1：バーコードが表示された表を印刷する

ワークシートに表示したバーコードを印刷する際は、バーコードリーダーで正しく読み取れるように、バーコードが入力されたセルの書式を設定しておくのがポイントになります。これから、先の3章でバーコードを表示させた「発注表.xls」のバーコード欄(E列)のフォントサイズや文字の配置などを調整して、これを印刷してみましょう。

【手順1：バーコード欄の選択】

バーコードが入力されたセル範囲を選択します。

	A	B	C	D	E	F
1	発注シート			発注日	2005/7/14	
2	No.	商品コード	商品名	注文数	バーコード	
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,587	[Barcode]	
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014	[Barcode]	
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369	[Barcode]	
6	4	BF256	退色防止マーカー黄	3,128	[Barcode]	
7	5	BF266	退色防止マーカー赤	684	[Barcode]	
8	6	BS701	強化黒ゴム	1,510	[Barcode]	
9	7	CK625	チタンクリップ中	1,022	[Barcode]	
10	8	CK615	チタンクリップ小	92	[Barcode]	
11	9	CK645	チタンクリップ特大	885	[Barcode]	
12	10	DR751	仕事効率手帳Aタイプ	650	[Barcode]	
13	11	DR851	仕事効率手帳Bタイプ	4,850	[Barcode]	
14	12	KS120	DVDクリアケース	989	[Barcode]	
15						
16						

1.ここで左ボタンを押す

2.ここまでドラッグし、
左ボタンを離す

【手順2：セルの書式設定の実行】

セルの書式設定ダイアログボックスを呼び出します。

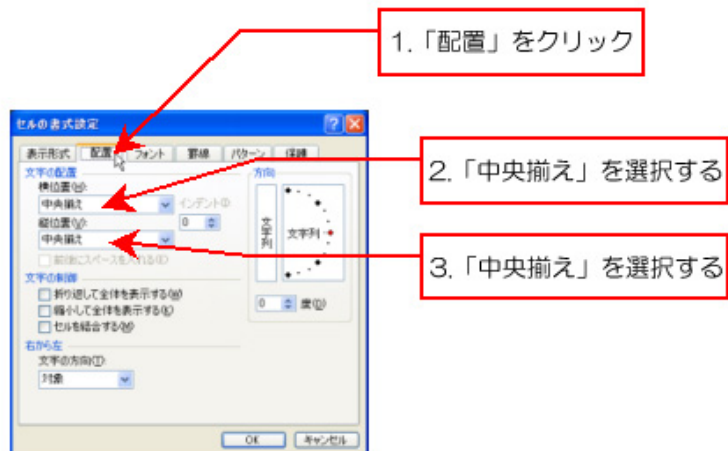
	A	B	C	D	E	F
1	発注シート			発注日	2005/7/14	
2	No.	商品コード	商品名	注文数	バーコード	
3	1	AS001	油性ボールペン黒	1,587	[Barcode]	
4	2	AS002	油性ボールペン赤	2,014	[Barcode]	
5	3	AS007	油性ボールペン紫	369	[Barcode]	
6	4	BF256	退色防止マーカー黄	3,128	[Barcode]	
7	5	BF266	退色防止マーカー赤	684	[Barcode]	
8	6	BS701	強化黒ゴム	1,510	[Barcode]	
9	7	CK625	チタンクリップ中	1,022	[Barcode]	
10	8	CK615	チタンクリップ小	92	[Barcode]	
11	9	CK645	チタンクリップ特大	885	[Barcode]	
12	10	DR751	仕事効率手帳Aタイプ	650	[Barcode]	
13	11	DR851	仕事効率手帳Bタイプ	4,850	[Barcode]	
14	12	KS120	DVDクリアケース	989	[Barcode]	
15						
16						
17						
18						

1.右クリック

2.クリック

【手順3：バーコードの配置の設定】

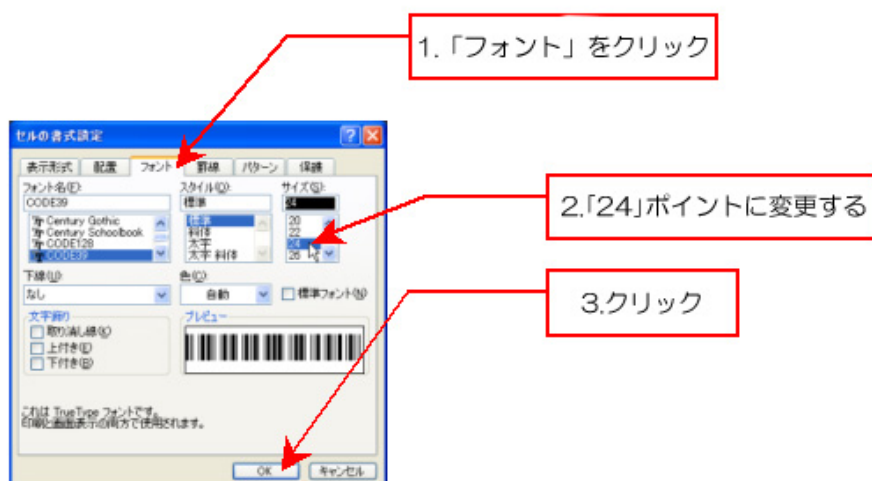
バーコードがセルの中央になるように、セル内での縦横の配置を調整します。



このように配置すると、バーコードの上下左右に少し余白を空けることができます。

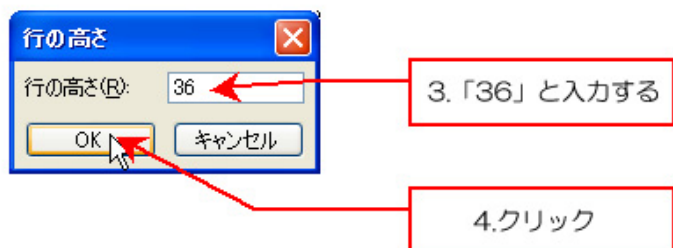
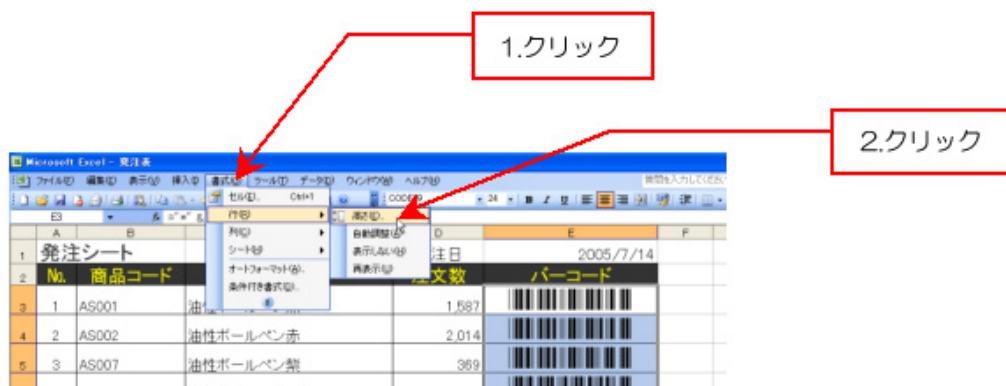
【手順4：バーコードのフォントサイズの変更】

フォントサイズを調整します。



【手順5：行の高さの調整】

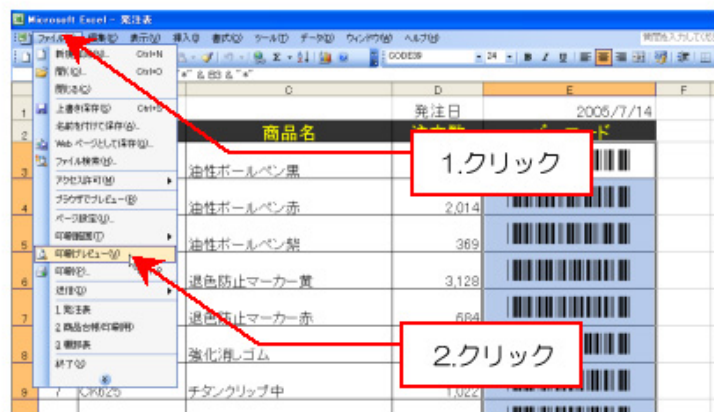
バーコードの上下にさらに余白を確保するために、セル(行)の高さを高くします。



行の高さは、バーコードのフォントサイズに合わせて適切な値を設定します。

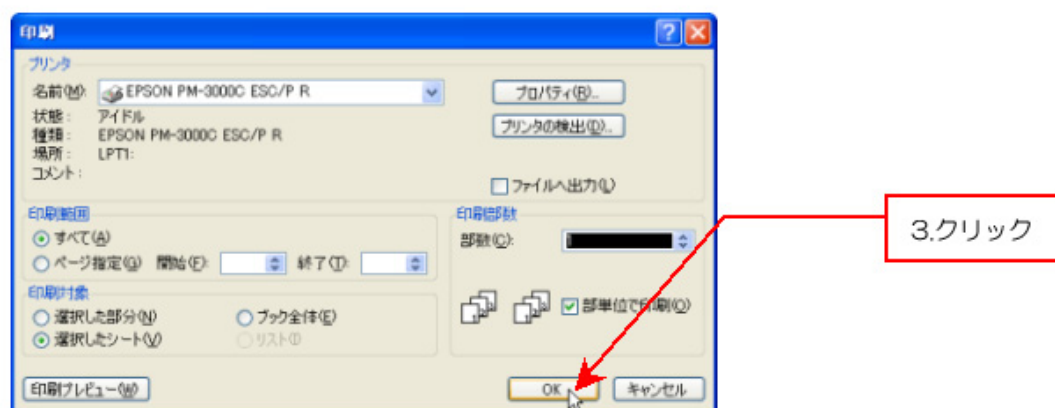
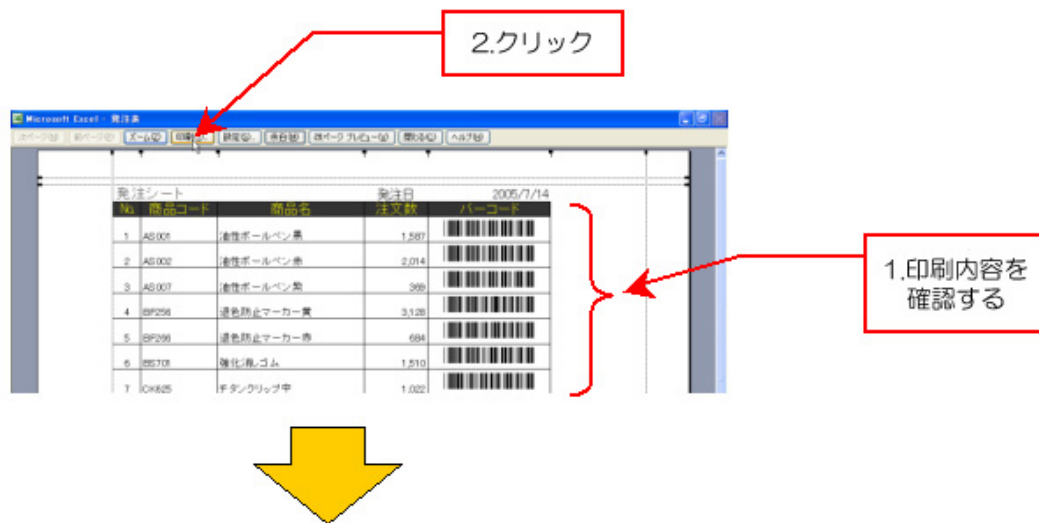
【手順6：印刷プレビューの実行】

印刷プレビューを実行して、印刷内容を確認します。



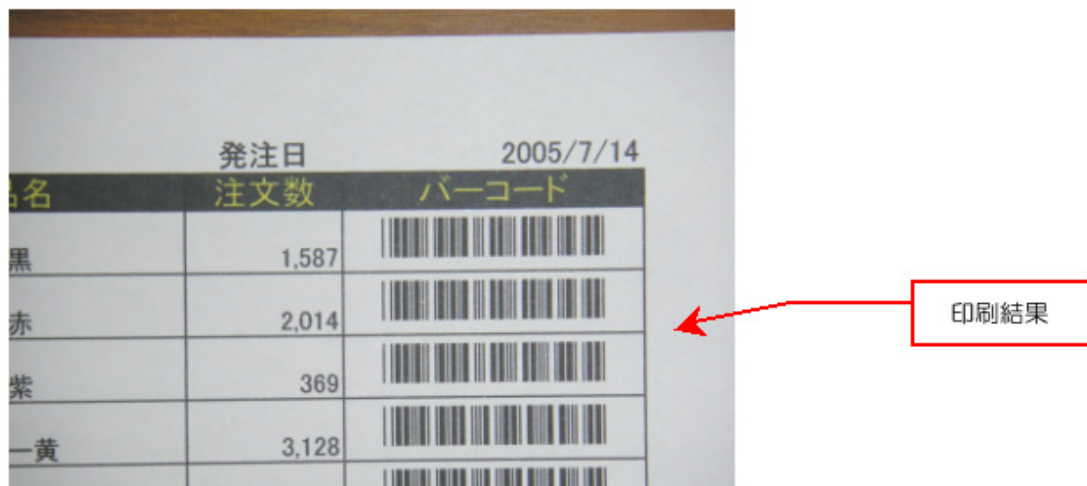
【手順7：印刷の実行】

余白や用紙の向きなどを調整してから印刷を行います。



【結果：印刷内容の確認】

「発注書.xls」のバーコードの内容が印刷されました。このように、バーコードを印刷する際は、バーコードが入力されたセルのフォントサイズを大きくしてから、バーコードがセルの中央に配置されるように調整するのがコツです。このとき、バーコードの上下左右に少し余白があると、バーコードリーダーでスキャンしやすくなります。



◆素朴な質問コーナー

◇Q バーコードを印刷するときのフォントサイズはどれくらいに設定すればいいのですか？

◇A バーコードを印刷する際のフォントサイズは、通常は「20」ポイント以上の値を設定しておくことが無難です。これは、フォントサイズが小さいとバーコードを印刷した際に、使用しているプリンタの印字品質によっては正しく読み取れない場合があるからです。特にインクジェットプリンタの場合は、用紙へのインクのにじみなどで読み取りエラーが発生することがあるので注意が必要です。

なお、今回使用している「USB BARScan」の場合は、横幅が70ミリ以内の範囲で正しく読み取ることができるため、フォントサイズは20ポイント～32ポイントの範囲で指定しておくといでしょう。

※使用しているバーコードリーダーの種類によって、読み取り可能なバーコードの横幅の上限が異なります。

◇A Excelを利用している場合は、バーコード用フォントを使う方法のほかに、バーコードを表示するためのソフトウェアやマクロ(ワークシートに組み込んで利用するプログラム)を導入することで可能です。また、Access(Microsoft製のデータバ

ースソフト)を使うと、いろいろな種類のバーコードを表示したり、印刷したりすることができます。これは、Active Xという技術を使った「バーコードコントロール」という機能を利用することによって可能になっています。

[テクニカル](#) [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

Technical Corp. Copyright 2001 Technical Crop.

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第4章 バーコードを印刷してみよう！

[1：バーコードが表示された表を印刷する](#) | [2：Wordの差し込み印刷を使って、商品ラベルをバーコード付きで印刷する](#)
[3：差し込み印刷の参照元となるワークシートの作成](#) | [4：差し込み印刷を行うための設定](#)

2：Wordの差し込み印刷を使って、商品ラベルをバーコード付きで印刷する

Wordの差し込み印刷機能を利用すると、Excelで作成した表のデータをもとに、個々の商品情報やバーコードをラベル形式で印刷することができます。ここでは、この機能を使って、Excelの商品台帳の内容をラベル形式でバーコード印刷する方法を説明します。

商品コード	商品名	仕入価格	販売価格	ケース	CODE39
A1251	トータルボディーエクサイザー	¥679	¥700	1	*A1251*
A1451	アロエスキングリム 200g	¥165	¥170	1	*A1451*
B0205	新不思議な魔法くつ下	¥495	¥500	1	*B0205*
B0206	バスキッチンマット2P	¥398	¥400	1	*B0206*
B0207	ふわやか歯ブラシ5P	¥63	¥65	1	*B0207*
C0781	バスタオルアソート	¥189	¥195	1	*C0781*
C0792	エアコン洗浄スプレー	¥97	¥100	1	*C0792*
E2132	健康サンダル	¥97	¥100	1	*E2132*
E2589	新うるおい石鹸2P	¥54	¥56	1	*E2589*
F0690	アロエボディソープ	¥349	¥360	1	*F0690*
G3315	マイナスイオン扇風機カバー	¥631	¥650	1	*G3315*
H8751	ジャガード綿大判バスタオル	¥155	¥160	1	*H8751*
H8547	ジャガード綿フェイスタオル	¥53	¥55	1	*H8547*
P0072	ふとん圧縮パック	¥437	¥450	1	*P0072*
S1257	ボアアクション	¥223	¥230	1	*S1257*
T2580	スリッパラック	¥631	¥650	1	*T2580*

商品台帳
(Excel ワークシート)



差し込み印刷



商品ラベルの形式で印刷する
(Word 文書)

[3：参照元となるワークシートの作成](#)
[4：差し込み印刷を行うための設定](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第4章 バーコードを印刷してみよう！

[1：バーコードが表示された表を印刷する](#) | [2：Wordの差し込み印刷を使って、商品ラベルをバーコード付きで印刷する](#)
[3：差し込み印刷の参照元となるワークシートの作成](#) | [4：差し込み印刷を行うための設定](#)

3：差し込み印刷の参照元となるワークシートの作成

差し込み印刷を行うには、印刷時に参照するデータ(差し込むデータ)をあらかじめ作成しておく必要があります。これらのデータはWordで直接作成できるほかに、ExcelのワークシートやAccessのテーブルなどのデータも利用することもできます。ここでは、差し込み印刷時に参照するデータとして、次のようなExcelのワークシートを使います。この「商品台帳.xls」というワークシートは、次のようなルールに基づいて作成します。なお、このルールに該当していないと差し込み印刷を正しく行うことができないので注意が必要です。

★1行目には列見出しを入力する

表の1行目には、表の列見出しを入力しておきます(1行目にタイトルなどを入力しないように注意する)。このとき入力された列見出しの値が、差し込み印刷の際のフィールド名として認識されます。

★2行目以降にはリスト形式でデータを入力する

表の2行目以降に、リスト形式で「1行=1件のレコード」となるようにデータを入力しておきます。これらのデータが、差し込み印刷時のそれぞれのラベルの値となります。

基になるワークシートを作成したら、これを保存してExcelを終了します。

商品コード	商品名	仕入価格	販売価格	ケース	CODE39
A1251	トータルボディエクサイザー	¥679	¥700	1	*A1251*
A1461	アロエスキングクリーム 200g	¥165	¥170	1	*A1461*
B0205	新不思議な魔法くつ下	¥485	¥500	1	*B0205*
B0206	バスキッチンマット2P	¥388	¥400	1	*B0206*
B0207	さわやか歯ブラシ5P	¥63	¥65	1	*B0207*
C0781	バスタオルアソート	¥189	¥195	1	*C0781*
C0792	エアコン洗浄スプレー	¥97	¥100	1	*C0792*
E2132	健康サンダル	¥97	¥100	1	*E2132*
E2589	新うるおい石鹸2P	¥54	¥56	1	*E2589*
F0690	アロエボディソープ	¥349	¥360	1	*F0690*
G3315	マイナスイオン扇風機カバー	¥631	¥650	1	*G3315*
H8751	ジャカード縹太柄バスタオル	¥155	¥160	1	*H8751*
H8547	ジャカード縹フェイスタオル	¥53	¥55	1	*H8547*
P0072	ふとん圧縮パック	¥437	¥450	1	*P0072*
S1257	ボアアクション	¥223	¥230	1	*S1257*
T2580	スリッパラック	¥631	¥650	1	*T2580*

◎基になるワークシート「商品台帳.xls」

1行目に列見出しを入力する

2行目以降にリスト形式で
データを入力する

[テクニカル](#) | [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

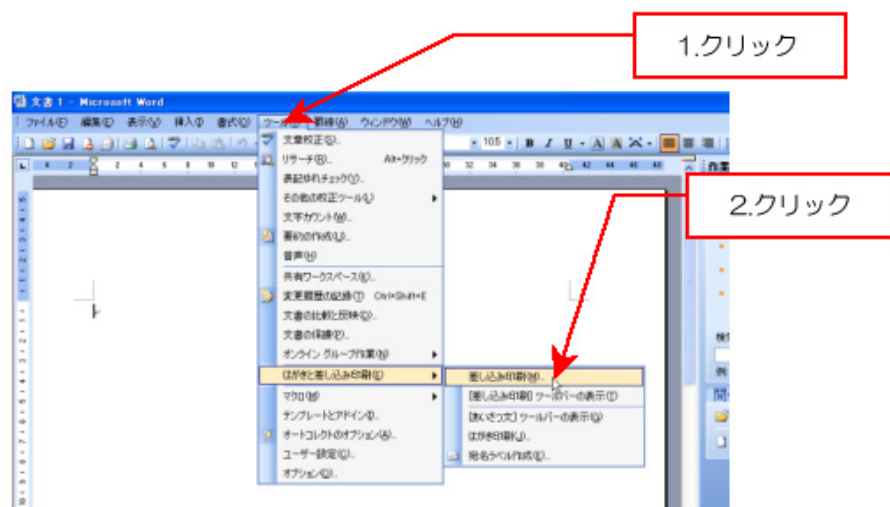
第4章 バーコードを印刷してみよう！

[1：バーコードが表示された表を印刷する](#) | [2：Wordの差し込み印刷を使って、商品ラベルをバーコード付きで印刷する](#)
[3：差し込み印刷の参照元となるワークシートの作成](#) | [4：差し込み印刷を行うための設定](#)

4：差し込み印刷を行うための設定

【手順1：「差し込み印刷」コマンドの実行】

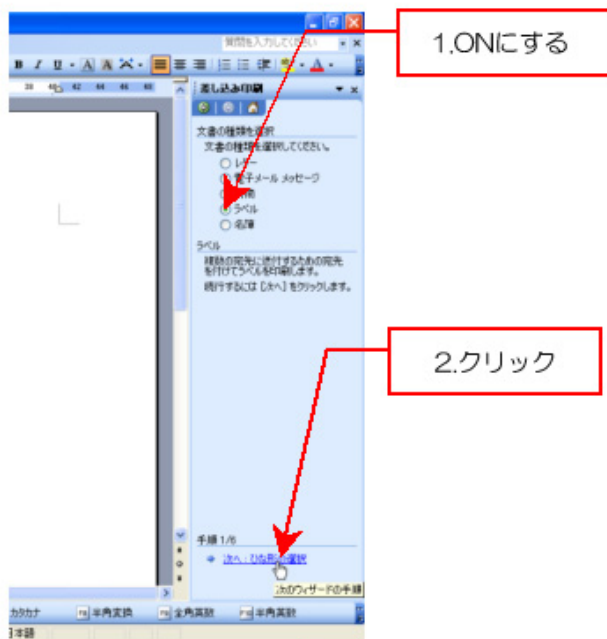
メニューから、「差し込み印刷」コマンドを実行します。



Word2002の場合は、[ツール(T)]→[はがきと差し込み印刷(E)]→[差し込み印刷ウィザード(M)]を選択します。

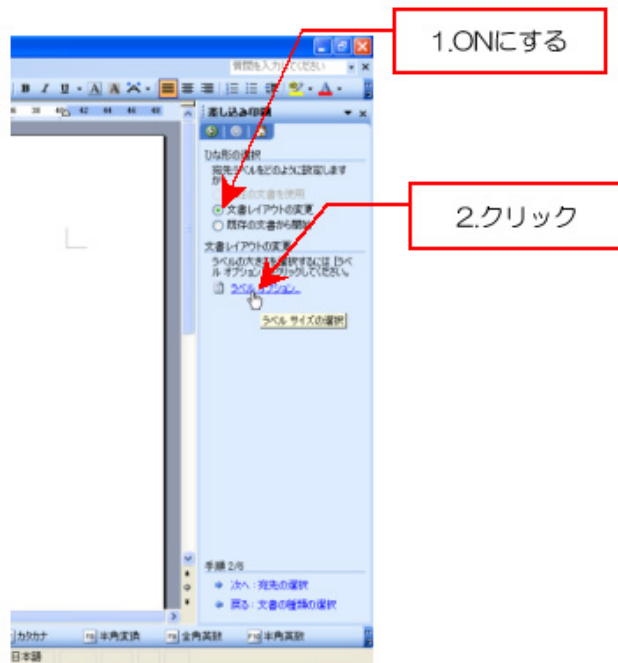
【手順2：文書の種類の選択】

作業ウィンドウから、文書の種類に「ラベル」を選択します。



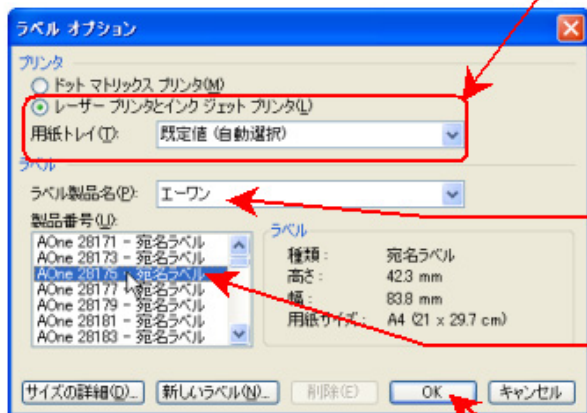
【手順3：文書レイアウト設定の呼び出し】

「ひな型の選択」から[文書レイアウトの変更]を選択し、「ラベルオプション」を呼び出します。



【手順4：使用している宛名ラベルの選択】

「ラベルオプション」ダイアログボックスから、使用している宛名ラベルの種類を選択します。



1.プリンタの種類と給紙方法を選択する

2.宛名ラベルの製造元を選択する

3.宛名ラベルの品番を選択する

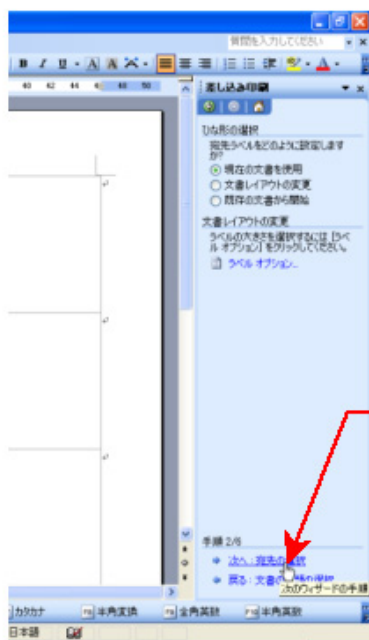
4.クリック



ここでは、「エーワン」の「AOne28175-宛名ラベル」という市販の紙ラベルを使うこととします。

【手順5：宛先の選択設定への移動】

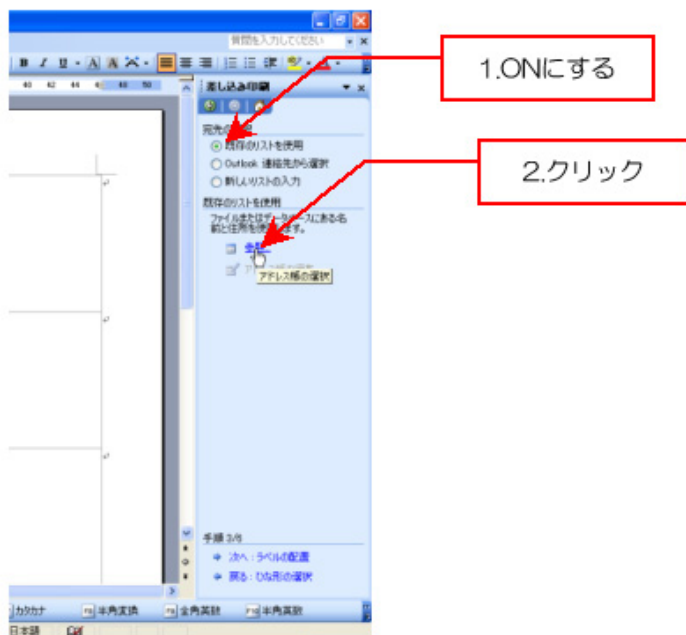
「宛先の選択」の設定に進みます



1.クリック

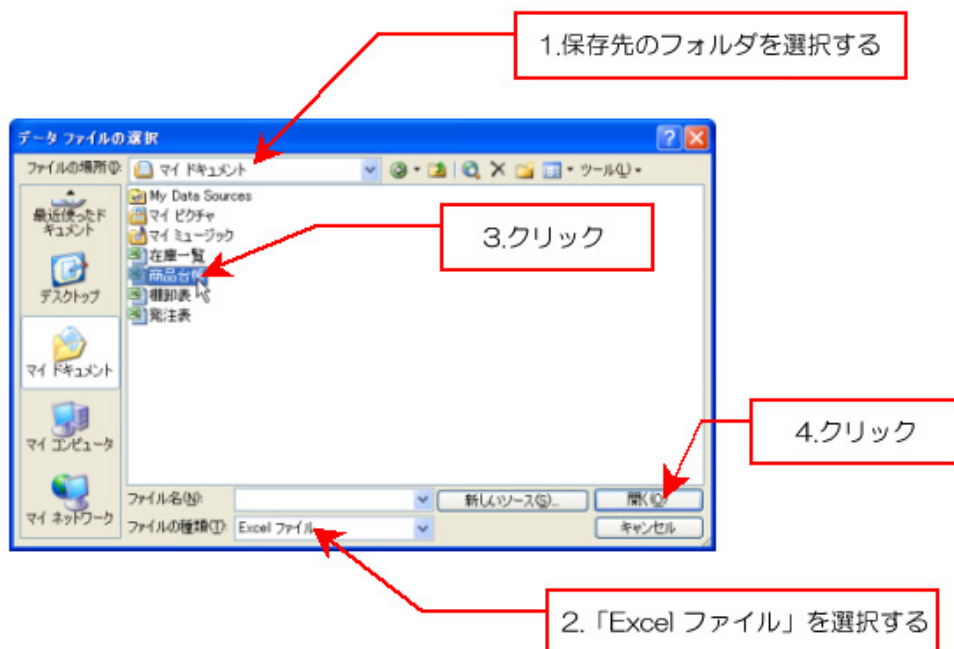
【手順6：宛先の選択】

宛先の選択」から既存のリスト(Excelワークシートなど)の参照を呼び出します。



【手順7：参照元となるデータの選択】

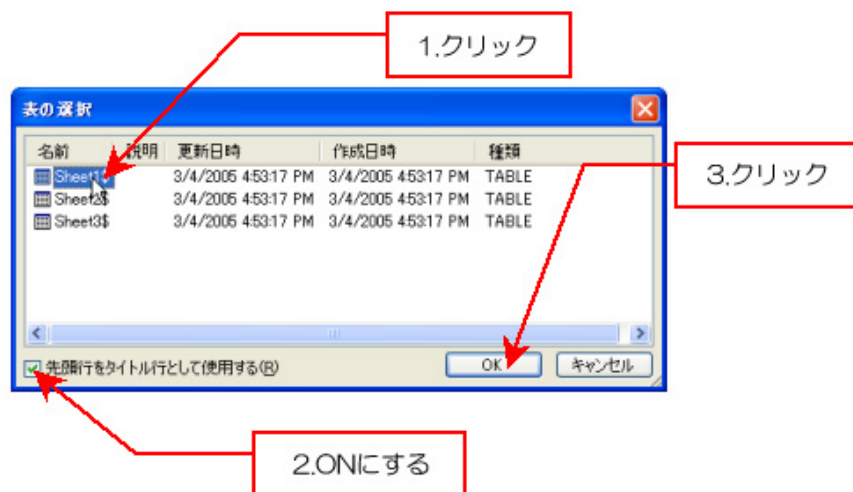
「データファイルの選択」ダイアログボックスから、参照元となるExcelワークシートを選択します。



Word2002の場合は、[ファイルの種類(T)]に「Microsoft Excel ワークシート(*.xls)」を選択します。

【手順8：参照するワークシートの選択】

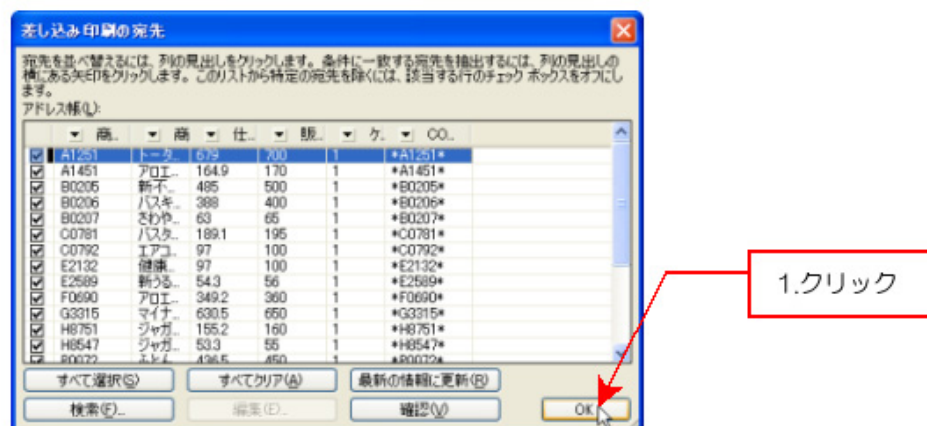
参照元となるデータが入力されているワークシートを一覧から選択します。



ここでは、参照先のワークシート内のデータ(表)では、1行目に列見出しが入力されているため、[先頭行をタイトル行として使用する(R)]をONにします。

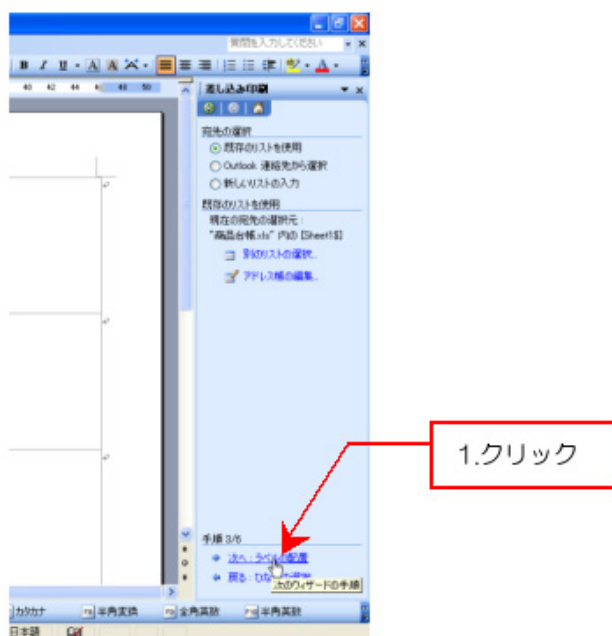
【手順9：内容の確認】

一覧に参照するデータが表示されるので内容を確認します。



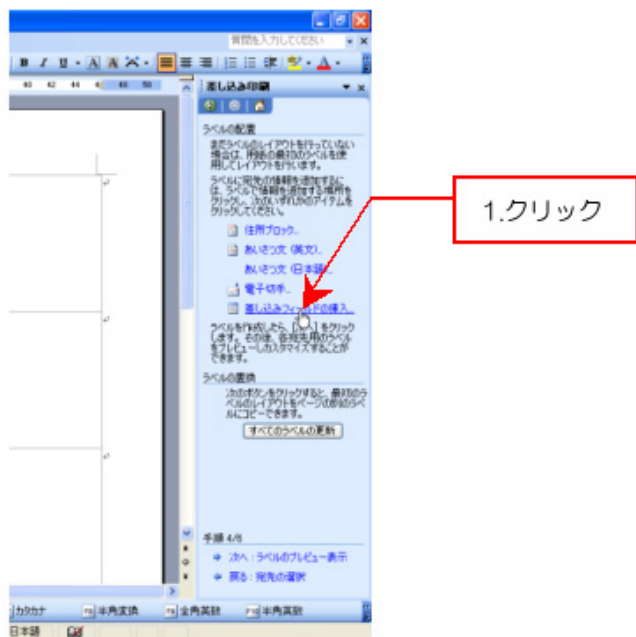
【手順10：「ラベルの配置」への移動】

「ラベルの配置」の設定に進みます。



【手順11：「差し込みフィールドの挿入」の呼び出し】

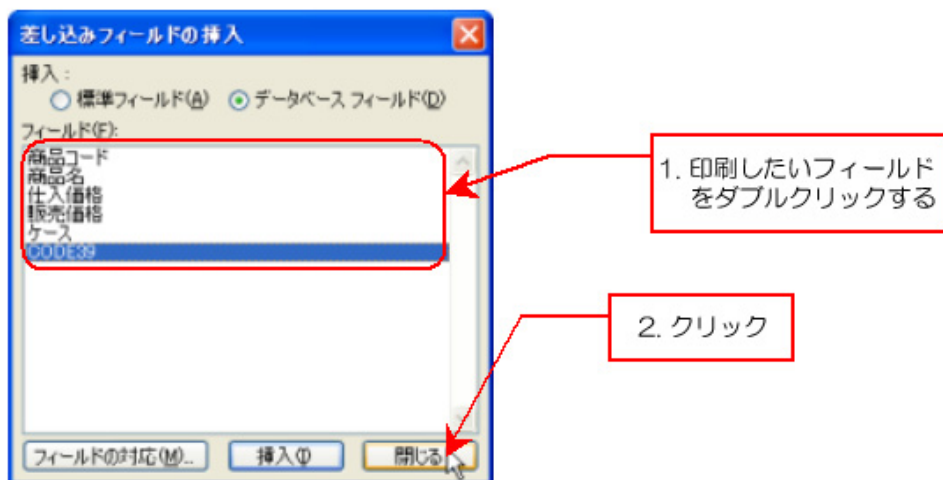
「ラベルの配置」から、差し込むフィールドを選択するためのダイアログボックスを呼び出します。



「フィールド」とは、それぞれのデータの項目名(ワークシートの1行目の列見出しの値)のことです。

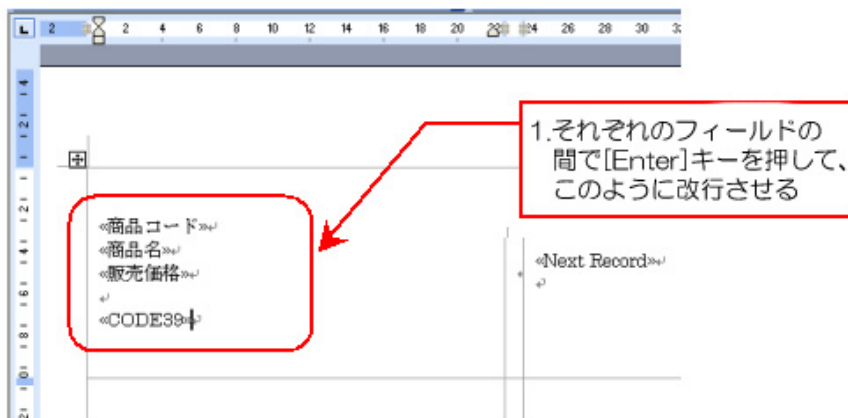
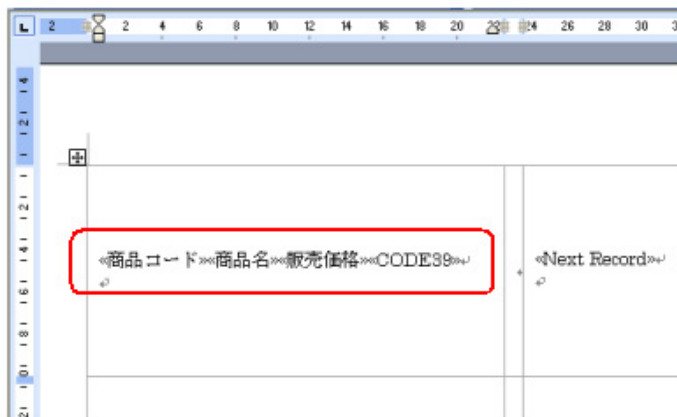
【手順12：印刷するフィールドの選択】

ラベルに印刷するフィールド(項目)を選択します。



【手順13：フィールドの位置の変更】

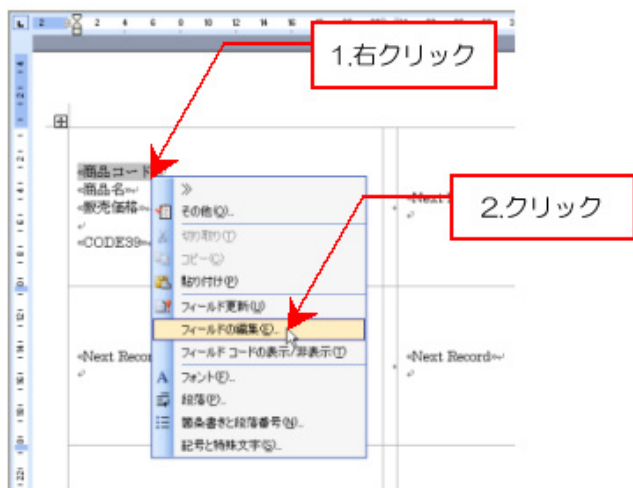
挿入されたフィールドをそれぞれ別の行で印刷されるようにします。



それぞれのフィールドは<< >>で囲まれて表示されます。フィールドの位置を変更する際は、<< >>を削除しないように注意してください。

【手順14：編集するフィールドの選択】

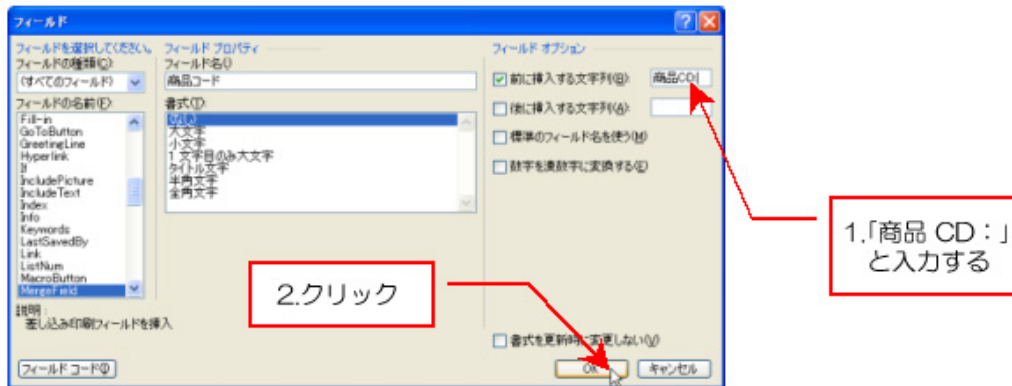
目的のフィールドの上で右クリックし、フィールドの編集を行うダイアログボックスを呼び出します。



Word2003では、フィールドを選択するとフィールド全体がグレーで表示されて区別できます。

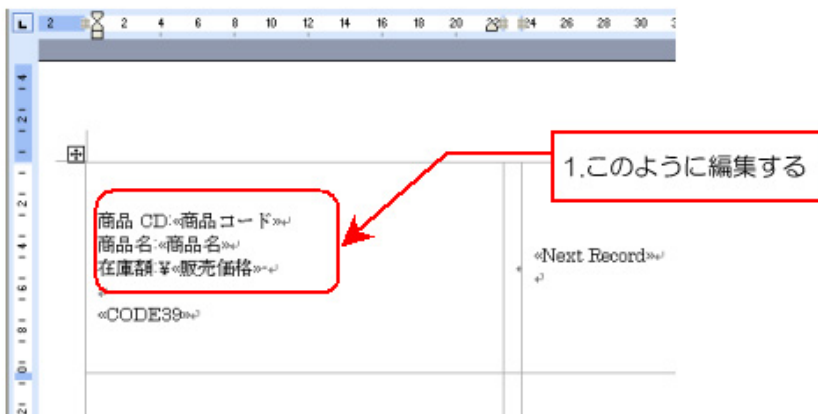
【手順15：フィールドの表示内容の編集】

選択したフィールドの前後に表示する文字列を入力します。



【手順16：他のフィールド内容の編集】

同じ要領で、他のフィールドも編集します。



ここでは、「商品名」と「販売価格」フィールドの内容を編集しています。

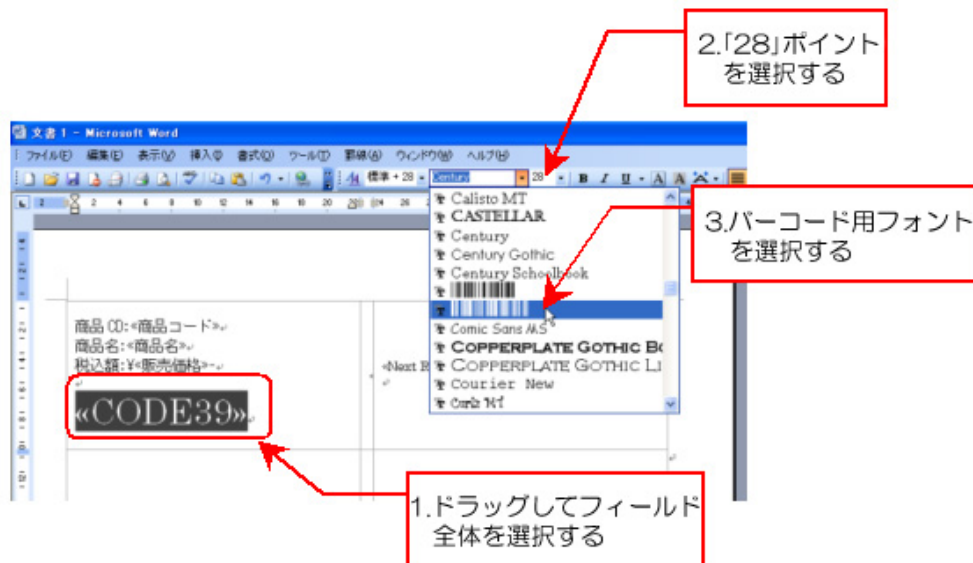
【手順17：通常フィールドのフォントとフォントサイズの変更】

文字や数字を表示するフィールドのフォントとフォントサイズを変更します。



【手順18：バーコードフィールドのフォントとフォントサイズの変更】

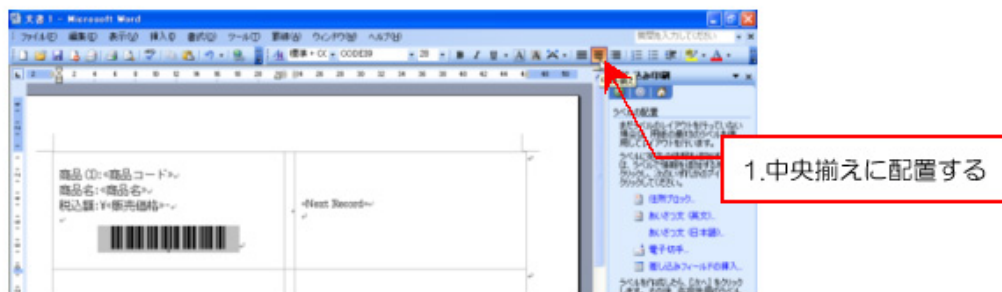
バーコードを表示するフィールドのフォントとフォントサイズを変更します。



バーコード用フォントは、選択するリスト内ではバーコードの書式で表示されます。

【手順19：ラベルの配置の調整】

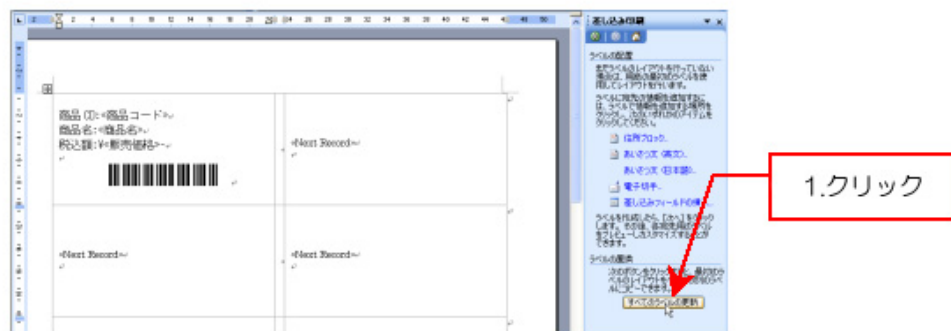
各フィールドの表示位置を微調整します。



ラベル全体のバランスを考慮しながら、他のフィールドの位置も微調整しておきます。

【手順20：他のラベルの更新】

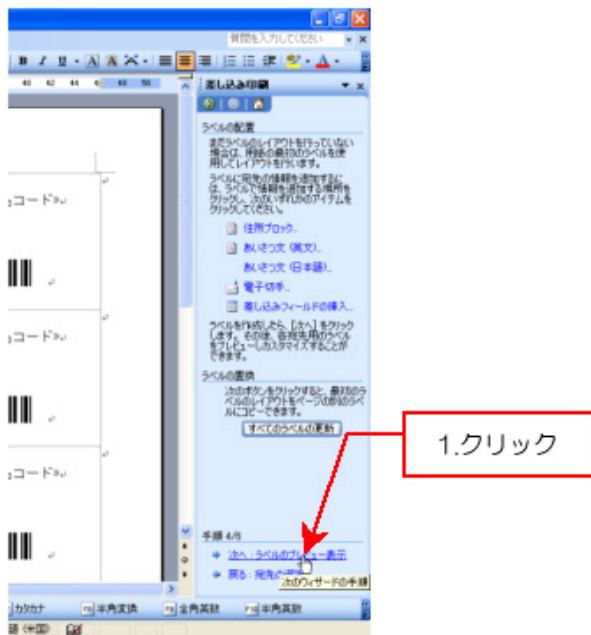
[すべてのラベルの更新]ボタンをクリックして、他のラベルのレイアウトを同じ内容にします。



他のラベルに表示される<<Next Record>>は、次のレコードを表示させるための命令フィールドとして自動的に付加されるため、これを削除しないようにしてください。

【手順21：ラベルのプレビュー表示】

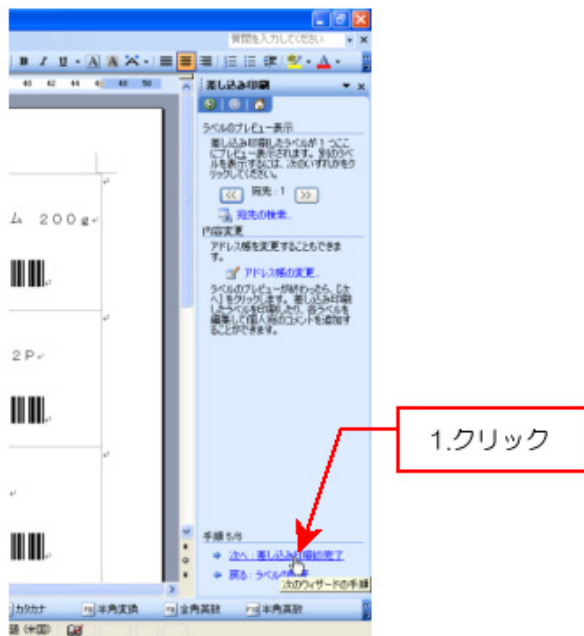
作成したラベルに実際のデータを差し込みます。



この操作を行うと、指定したデータがそれぞれのラベルに差し込まれた状態で表示されます。

【手順22：プレビュー内容の確認】

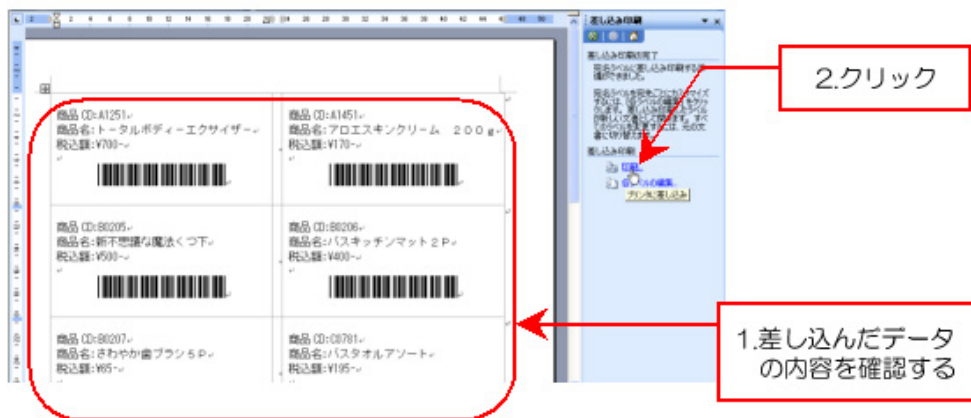
差し印刷のラベルのプレビュー内容を確認して、ラベルの作成を完了します。



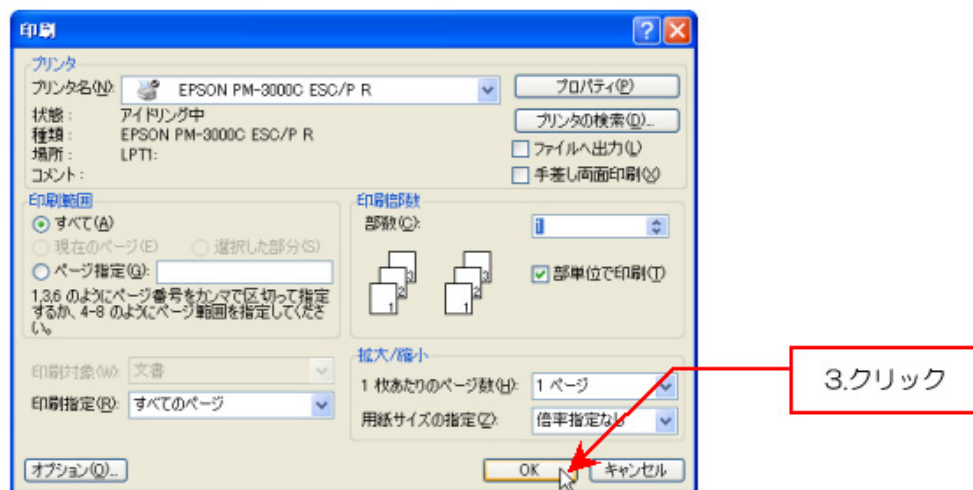
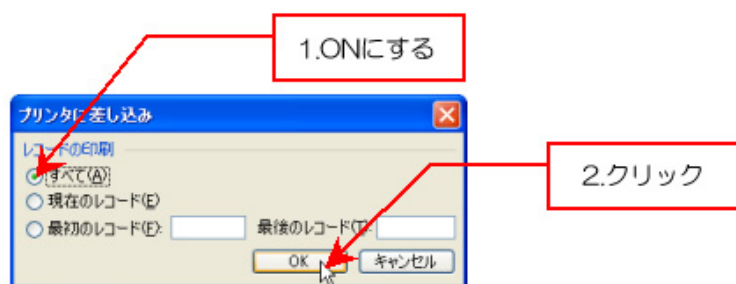
レイアウトの内容を変更したい場合は、[戻る：ラベルの配置]をクリックしてください。

【手順23：差し込み印刷の実行】

「印刷」をクリックして、印刷に関する設定を行います。

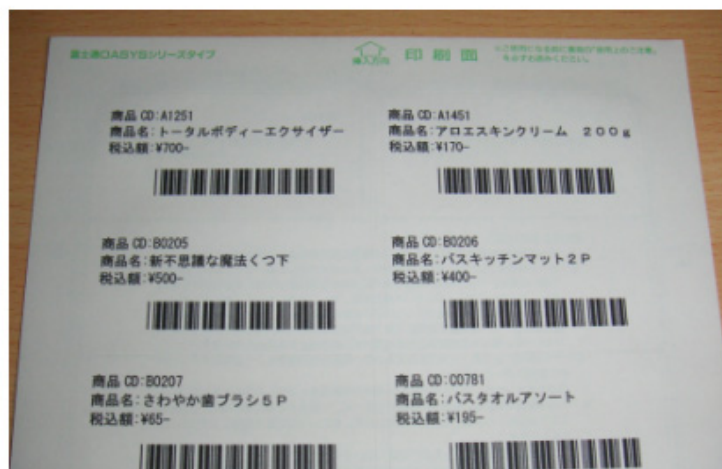


商品名が長すぎて2行に渡って表示されている場合は、画面右下の[戻る：～]をクリックして、「商品名」フィールドのフォントサイズを小さく設定してください。
印刷するレコードを選択し、ラベルの印刷を行います。



【結果：ラベル印刷の確認】

指定したExcelのワークシートを使って、商品ラベルが印刷されました。それぞれのラベルには、バーコードが印刷されています。

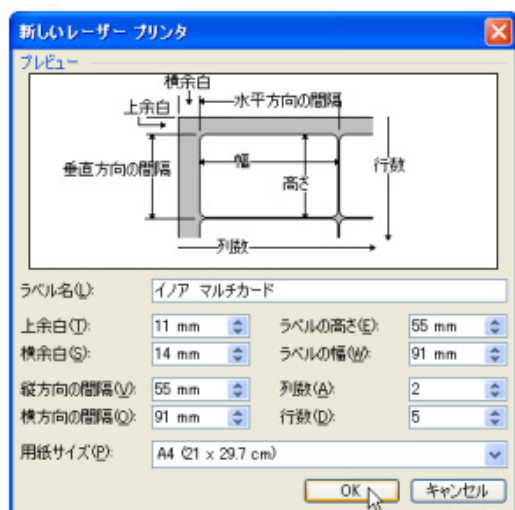


印刷されたバーコード

◆素朴な質問コーナー

◇Q 使用しているラベルが「ラベルオプション」にないときはラベル印刷はできないのですか？

◇A この場合、「ラベルオプション」ダイアログボックスで[新しいラベル(N)]ボタンをクリックして、使用しているラベルの詳細情報(高さ・幅・用紙サイズ・四辺の余白など)を登録しておくことで、次回からこのラベル情報を使うことができます。



一覧にないラベルでも、ここに登録しておくことで利用できるようになる

◎新しいラベルを登録するためのダイアログボックス

◇Q フィールドの前後に直接「\」や「商品名:」などの文字を入力できないのですか？

◇A 宛名ラベルウィザードで作成した文書では、フィールドの前後に文字を直接入力しても、これらの内容は無視されて消去されてしまいます。したがって、操作例のように、個々のフィールドごとにフィールド編集を行う必要があります。

[テクニカル](#) [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第5章 JANコードを作成しよう！

[1：JANコードとは](#) | [2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる](#) | [3：「Mi Barcode」とは](#)
[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#) | [5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

1：JANコードとは

JANコードとは、国内で扱われる商品がすべてユニークになるように定められた規格で、「メーカーコード」「商品アイテムコード」「チェックデジット」の3つの数値が結合された構造になっています。JANコードには、標準タイプ(13桁)と短縮タイプ(8桁)の2種類があり、標準タイプの場合はメーカーコードが9桁のものと7桁のものとに区別されます。

◎メーカーコードが9桁の場合

ラムネキャンディ



◎メーカーコードが7桁の場合

カレースナック



★メーカーコード

メーカーコードとは、それぞれの事業所(メーカー)を区別するために割り当てられた固有の番号です。このため、JANコードを利用するには、まずメーカーコードを取得しておく必要があります。メーカーコードは、「(財)流通システム開発センター」または全国の商工会議所・商工会へ申請することで取得できます。

申請すると、原則として9桁の数値が「456000001」～「459999999」の範囲で割り当てられます(2001年1月以降に申請した場合)。なお、当初のメーカーコードは7桁の数値(「4500001」～「4559999」、「4900001」～「4999999」)で運用されてきた経緯があるため、現在は9桁のものと7桁のものが混在しています。

※メーカーコードの先頭2桁は国別コードとして使用されており、日本には「45」または「49」の2種類が割り当てられています。

(財)流通システム開発センター

URL <http://www.dsri.jp>

TEL 03-5414-8511 (流通コードサービス部)

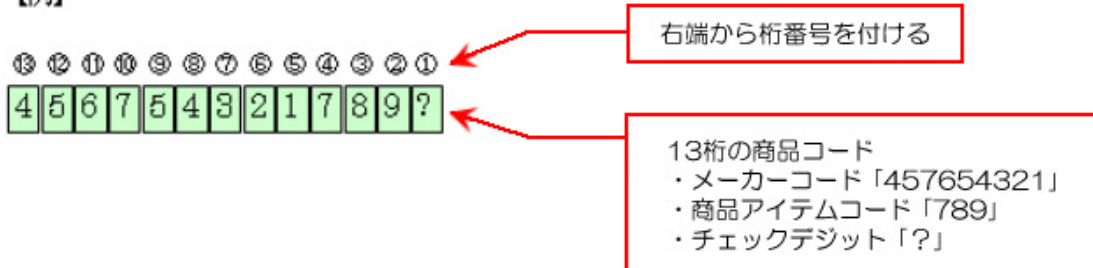
★商品アイテムコード

商品アイテムコードとは、商品の種類を識別するための数値で、事業所ごとに任意に決めることができます。商品アイテムコードは、使用しているメーカーコードの桁数によって3桁または5桁の長さに固定されます。メーカーコードが9桁の場合は商品アイテムコードは3桁となり、メーカーコードが7桁の場合は商品アイテムコードは5桁になります。

★チェックデジット

チェックデジットとは、データの入力ミスを防ぐためにデータの末尾に付加する英数字のことで、主にバーコードからの読み取りを正確に行う用途で使われています。JANコードの場合は、一般的によく使用される「ウエイト3-1 モジュラス10」という規格をもとに、次のような計算方法で数字1桁のチェックデジットの計算を行います。

【例】



【手順1】

「メーカーコード」 + 「商品アイテムコード」 + 「チェックデジット(1桁)」を結合して、右端から桁番号を付けます。



【手順2】

偶数桁に該当する数値をすべて加算してから3倍します。

※例：(5+6+4+2+7+9)×3=33×3=99



【手順3】

奇数桁(最右端を除く)に該当する数値をすべて加算します。

※例：4+7+5+3+1+8=28



【手順4】

手順1と2の合計を「10」で割った余りの数値を、「10」から引いた値がチェックデジットになります。

※例：10-((99+28)÷10の余り)=10-7=3 の計算で、
チェックデジットは「3」になる。

© 「ウエイト3-1 モジュラス10」の計算方法

[テクニカル](#) [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks
バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第5章 JANコードを作成しよう！

[1：JANコードとは](#) | [2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる](#) | [3：「Mi Barcode」とは](#)
[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#) | [5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

■ 2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる

「Mi Barcode」(エムアイバーコード)というフリーウェアを使うと、バーコード用フォントでは表現できない種類(JAN、UPC、ITFなど)のバーコードを表示することができます。ここでは、このツールを使って、ワークシート内の各セルにJAN(13桁)のバーコードを表示させる方法を説明します。

[3：「Mi Barcode」とは](#)

[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#)

[5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

[テクニカル](#) | [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第5章 JANコードを作成しよう！

[1：JANコードとは](#) | [2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる](#) | [3：「Mi Barcode」とは](#)
[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#) | [5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

3：「Mi Barcode」とは

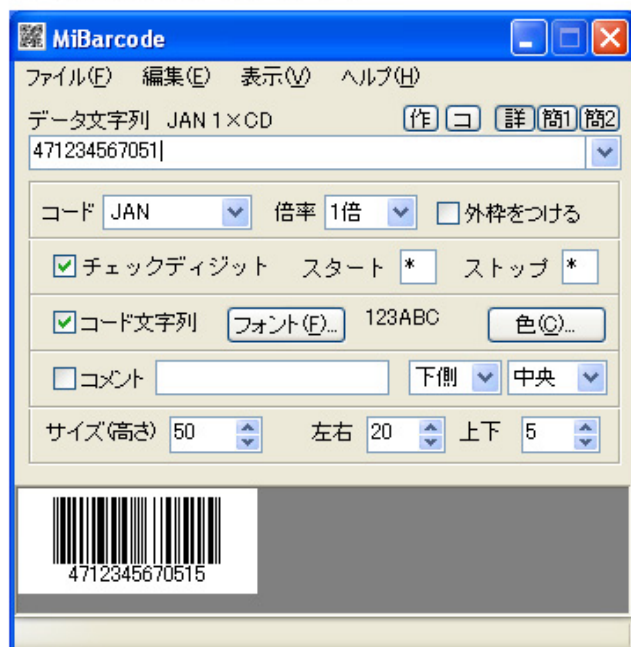
「Mi Barcode」(作者:M&I氏)とは、指定した値を基にバーコードを作成するためのフリーウェアで、13種類のバーコード規格AN/UPC/CODE39/NW-7/ITF/CTF/IAEA/MATRIX/NEC/CUSTOMER/CODE128/CODE93/QR2)に対応しているのが特長です。

このツールは、クリップボードにコピーされた値を読み込んで、この値をバーコード(メタファイルまたはビットマップの画像データ)に変換して再度クリップボードに格納する仕組みになっています。このため、利用するアプリケーション側では、作成されたバーコードをクリップボードから取り出して貼り付けるだけで、簡単にバーコードを表示することができます。

また、Officeアプリケーションのオートメーションサーバー機能にも対応しており、ExcelやWordのマクロ(VBAプログラム)から直接「Mi Barcode」のオブジェクトを操作することで、「Mi Barcode」をユーザーが操作しなくても、プログラム側からバーコードの作成処理を自動化することができます。

「Mi Barcode」の最新バージョンは、「M&Iのページ」(<http://homepage3.nifty.com/m-and-i/>)からダウンロードして利用できます。

◎「Mi Barcode」のウィンドウ



◆素朴な質問コーナー

◇Q オートメーションサーバー機能とは何のことですか？

◇A オートメーションサーバー機能とは、プログラミング可能なオブジェクトを他のアプリケーション(オートメーションクライアント)に公開するための機能です。オートメーションクライアントは、オートメーションサーバーから公開された機

能とオブジェクトに直接アクセスし、処理の自動化を図ることができます。たとえば、この機能をExcelのVBAで使う場合、VBAの参照設定で「Mi Barcode」のライブラリーを利用可能に設定しておく、「Mi Barcode」の機能をVBAから直接プログラミングして操作できるようになります(利用可能なVBAのコンポーネントの一つとして埋め込まれる)。

[3：「Mi Barcode」とは](#)

[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#)

[5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

[テクニカル](#) [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第5章 JANコードを作成しよう！

[1：JANコードとは](#) | [2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる](#) | [3：「Mi Barcode」とは](#)
[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#) | [5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

4：「Mi Barcode」を利用するための設定

「Mi Barcode」は、特別なインストール操作をすることなく、ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに解凍し、この中にあるプログラム(「Mibarcld.exe」)を実行するだけで利用できます。ただし、オートメーションサーバー機能を使ってExcelのマクロ作成画面(Visual Basic Editorのコードウィンドウ)から「Mi Barcode」のオブジェクトを直接操作する場合は、次のような手順で設定を行っておく必要があります。

【手順1：「Mi Barcode」の起動】

「Mi Barcode」の解凍先のフォルダを開き、「Mibarcld.exe」をダブルクリックして実行します。

【手順2：作成する画像形式の指定】

[編集(E)]→[コピーの種類]→[拡張メタファイル(EMF)]を選択します。

※Excel97以降で使用する場合は、[拡張メタファイル(EMF)]を選択してください。



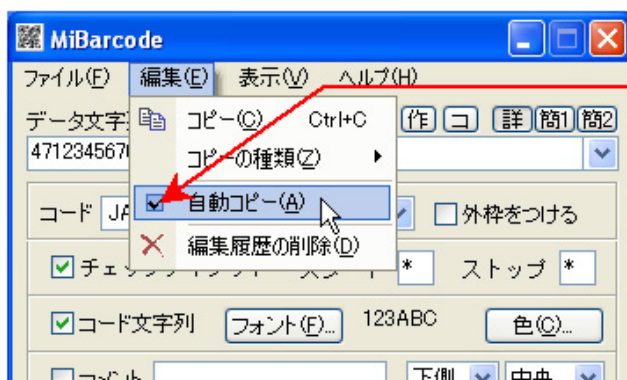
【ヒント】 [メタファイル(WMF)]や[拡張メタファイル(EMF)]の形式は、画像データをドロー形式(ベクトルデータ)で保持するため、拡大や縮小しても画質が粗くなることが少なく、また画像のファイルサイズを小さくすることができます。

【手順3：自動コピーの指定】

[編集(E)]→[自動コピー(A)]を選択し、[自動コピー(A)]欄にチェックを付けます。



【ヒント】 チェックしておくと、バーコードを作成した時点で自動的にクリップボードにもコピーされます。



[自動コピー(A)]欄に
チェックを付ける

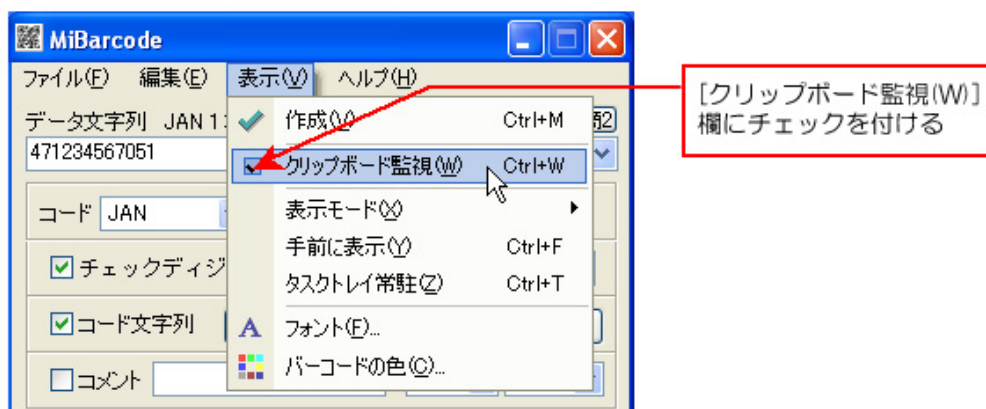
【手順4：クリップボード監視の指定】

[表示(V)]→[クリップボード監視(W)]を選択し、[クリップボード監視(W)]欄にチェックを付けます。



【ヒント】 チェックしておくと、クリップボードを監視してデータがコピーされた場合に自動的にバーコードを作成するようになります。この機能は、自動コピーと組み合わせることで、データをコピーするとそのデータを基にしたバーコードがクリップボ

ードに自動的にコピーされます。



【手順5：「Mi Barcode」の終了】

[ファイル(F)]→[閉じる(X)]を選択して、「Mi Barcode」を終了します。

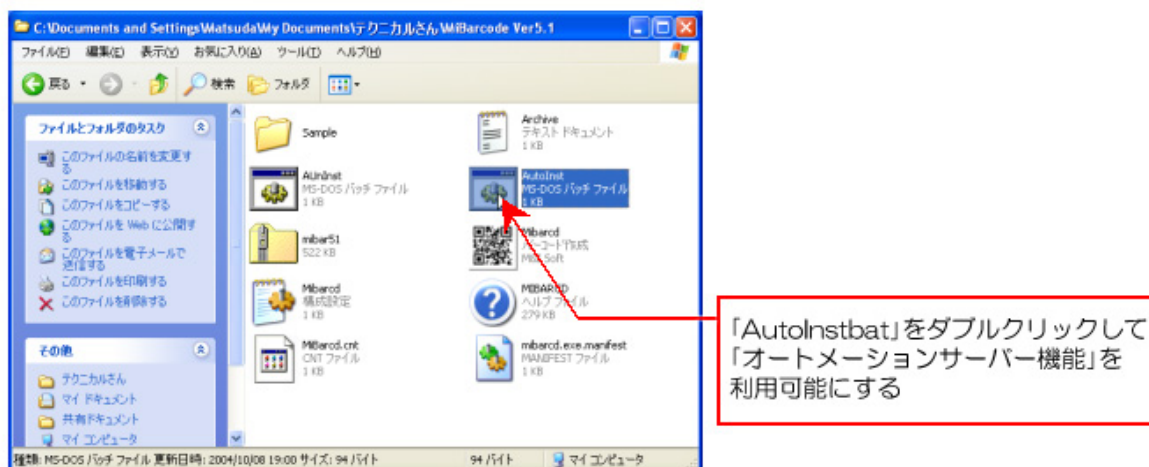
【手順6：オートメーションサーバー機能の組み込み】

「Mi Barcode」の解凍先のフォルダを開き、「Autolnst.bat」をダブルクリックして実行します



ヒント

この操作を行うと、オートメーションサーバー機能の実行に必要な情報がレジストリに登録され、Excelのマクロ作成画面(Visual Basic Editor)で、「Mi Barcode」のオブジェクトを直接操作して効率的なプログラミングを行えるようになります。



◆素朴な質問コーナー

◇Q 「Mi Barcode」はExcelのマクロ(VBA)からしか利用できないのですか？

◇A 「Mi Barcode」は、Excelのマクロ(VBA)は使わなくても、Excelのワークシート上からセルの値をクリップボードにコピーするだけで利用することができます。たとえば、セルA1に入力したJANコード(12桁)の値を基に、セルB2にバーコードを表示させるには、上記の『O5-2-2 「Mi Barcode」を利用するための設定』を行った状態で、次のように操作します。

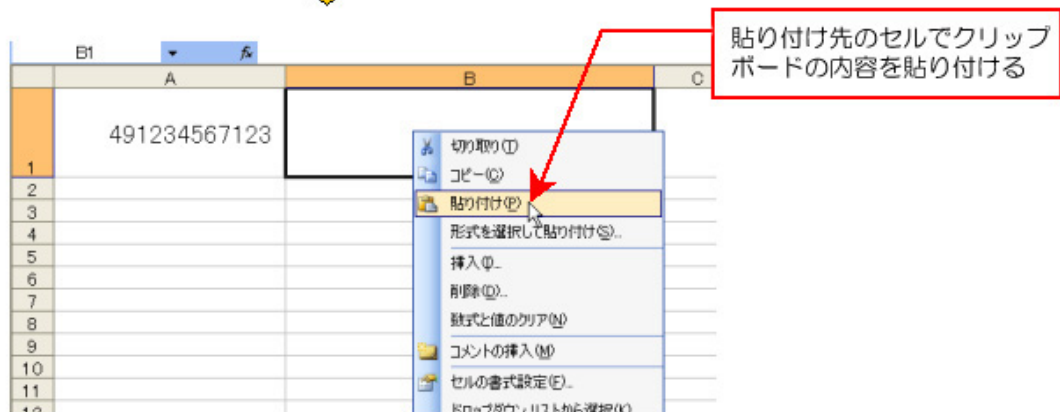
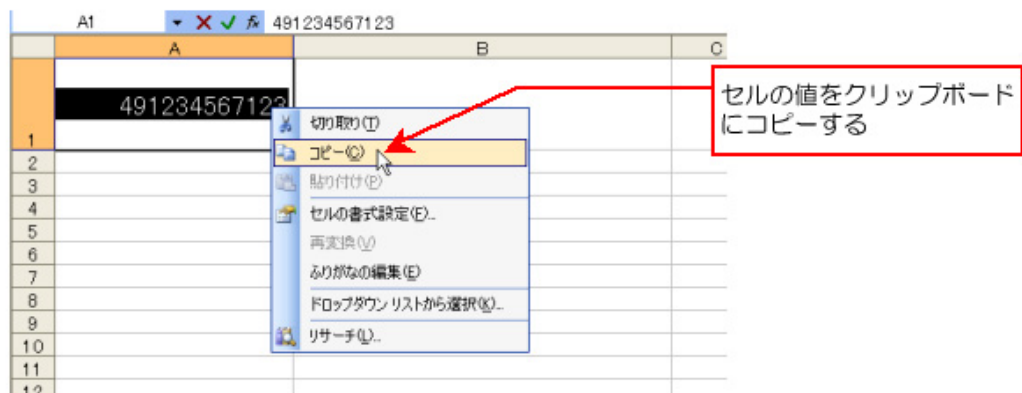
【手順1】 「Mi Barcode」の[コード]欄に「JAN」を設定します。

【手順2】 Excelのワークシートを選択し、セルA1をダブルクリックして、セルに入力された値をドラッグして選択します。

【手順3】 選択したセルA1の値の上で右クリックし、[コピー(C)]を選択します(セルA1の値をクリップボードにコピー)。

※ 「Mi Barcode」を起動した状態(「自動コピー」と「クリップボード監視」が有効であること)で特定の値をクリップボードにコピーすることで、この値がバーコードの画像データに変換されてクリップボードに保管されます。

【手順4】 貼り付け先となるセルB2の上で右クリックし、[貼り付け(P)]を選択します。これにより、クリップボードに作成されたバーコードの画像データがセルB2に貼り付きます。



3 : 「Mi Barcode」とは

4 : 「Mi Barcode」を利用するための設定

5 : 「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる

[テクニカル](#) | [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

バーコードハンドブック 使い方ガイド

[バーコード入門編](#)[バーコード活用編](#)[バーコード応用編](#)[バーコードフォント無償ダウンロード](#)[テクニカルHP](#)

Barcode HandBooks バーコード活用編 USB BARScan

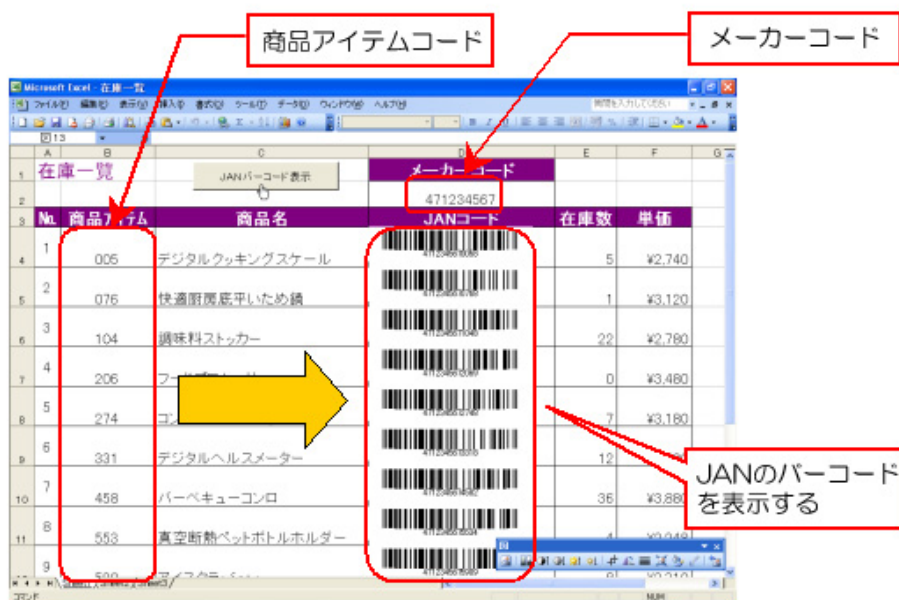
[第1章](#)[第2章](#)[第3章](#)[第4章](#)[第5章](#)[TOP](#)

第5章 JANコードを作成しよう！

[1：JANコードとは](#) | [2：ワークシートにJANのバーコードを表示させる](#) | [3：「Mi Barcode」とは](#)
[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#) | [5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

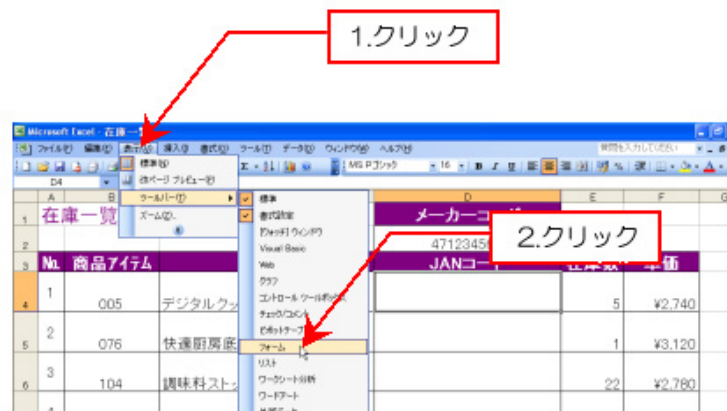
5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる

「Mi Barcode」を使うと、JANコードのチェックデジットを自動的に計算してバーコードを表示することができます。ここでは、「Mi Barcode」のオートメーションサーバー機能を使って、「在庫一覧.xls」というワークシートの[JANバーコード作成]というボタンをクリックすると、メーカーコード(セルD2)と商品アイテムコード(B列)を基にJANコード(チェックデジットを含む)を求め、このバーコードをD列のそれぞれのセルに表示させる方法を説明します。
※ここでは、メーカーコード(9桁)と商品アイテムコード(3桁)とチェックデジット(1桁)を組み合わせて作成した標準タイプのJANコード(13桁)を基に、バーコードを作成します。



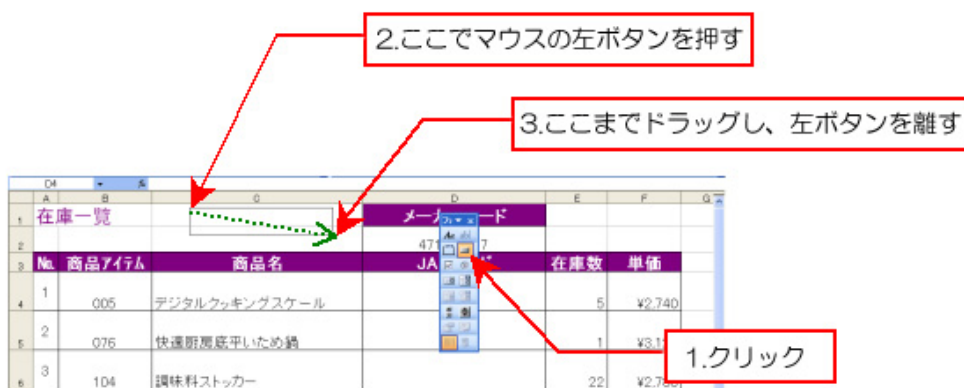
【手順1：「フォーム」ツールバーの表示】

「フォーム」ツールバーを表示します。



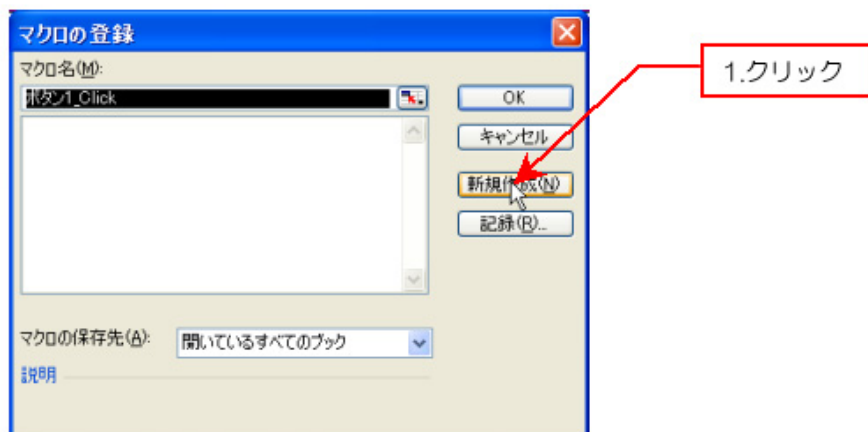
【手順2：ボタンの作成】

ワークシートの上部にバーコードを表示させるためのボタンを作成します。



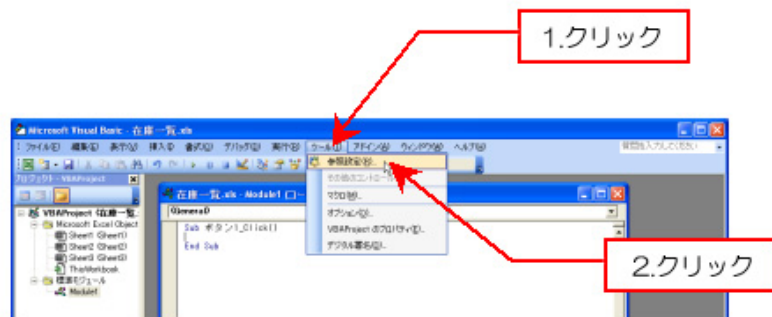
【手順3：マクロの割り付け】

作成したボタンにマクロを割り付けます。ここでは、割り付けるマクロを新規作成するために、マクロ編集画面(Visual Basic Editorのコードウィンドウ)を起動します。



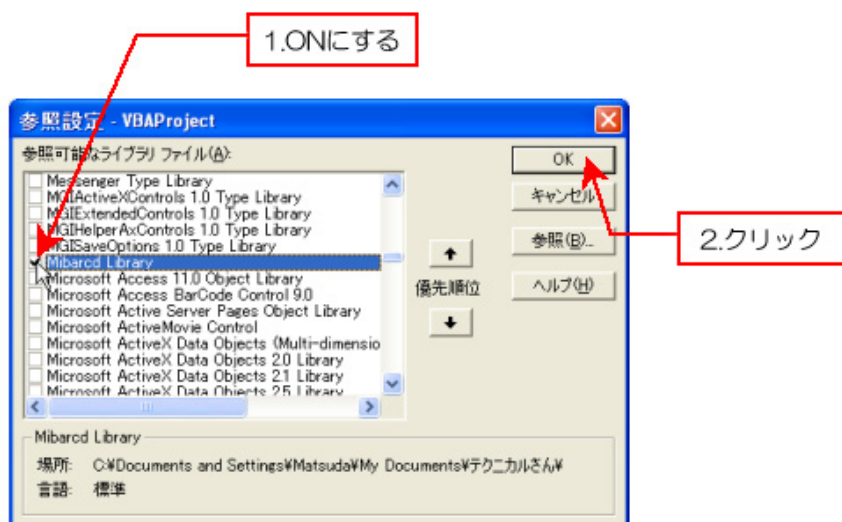
【手順4：参照設定の表示】

起動したマクロ作成画面(Visual Basic Editorのコードウィンドウ)の「ツール」メニューから「参照設定」を呼び出します。



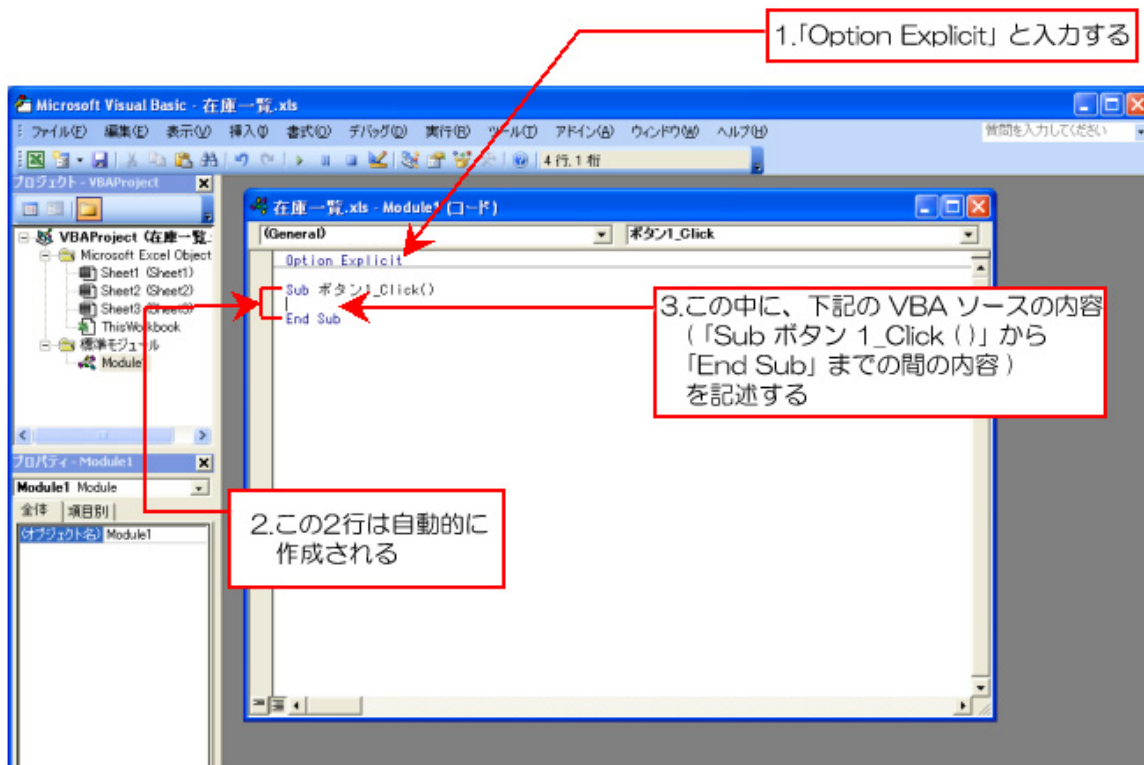
【手順5：「Mi Barcode」の参照設定】

「Mi Barcode」のオートメーションサーバー機能を利用できるように、「Mibarcod Library」を参照可能に設定します。



【手順6：JANのバーコードを表示するためのマクロの作成】

マクロ作成画面(Visual Basic Editorのコードウィンドウ)に、下記の処理(手順2で作成したボタンをクリックしたときに実行する処理)を記述します。



先頭に「Option Explicit」と入力すると、定義されていない変数が入力されている場合にエラーメッセージが表示されるので、プログラムの記述ミスを防ぐことができます。なお、[ツール(T)]→[オプション(O)]を選択して、「編集」タブ内にある[変数の宣言を強制する(R)]をONにしておくと、自動的に「Option Explicit」が付加されます。

=====★★ VBA プログラムここから ★★=====

Option Explicit

Sub ボタン1_Click()
'「MiBarcode」(+オートメーションサーバー機能)を使用してJANコードを作成する
'※VisualBasic Editorの[参照設定]で「MiBarcd Library」をONにすること

Dim MiBar As Mibarcld.Auto
Dim strCode1 As String 'メーカーコード格納用
Dim strCode2 As String '商品アイテムコード格納用
Dim i As Long '表の入力範囲のカウント用

'Mibarcldのオートメーションサーバー・オブジェクトを作成
Set MiBar = New Mibarcld.Auto

'基本オプションの設定
MiBar.Show (0) 'ウィンドウを隠す
MiBar.CodeType = 0 'JANコード
MiBar.BarScale = 1 'バーコードサイズ
MiBar.AddCodeChar = 1 'バーコード文字列を表示
MiBar.Height = 40 'バーコードの高さ(ピクセル)
MiBar.CopyType = 1 'コピーの種類(拡張メタファイル)

'B列の先頭行(4行目)から末尾行までを繰り返す
For i = 4 To Cells(65536, 2).End(xlUp).Row Step 1
'メーカーコードと商品アイテムコードを結合してJANコードを作成する
'(チェックデジットは「MiBarcode」により自動的に付加される)
strCode1 = CStr(Range("D2"))
strCode2 = Format(Cells(i, 2).Value, "000")
MiBar.Code = strCode1 & strCode2
'バーコードの作成
MiBar.Execute

'バーコードを表示するセルへのカーソルセットと貼り付け

```
Cells(i, 4).Activate  
ActiveCell.PasteSpecial  
Next
```

```
'オブジェクトの解放  
Set MiBar = Nothing
```

```
End Sub
```

=====★★ VBA プログラムここまで ★★=====

[3：「Mi Barcode」とは](#)

[4：「Mi Barcode」を利用するための設定](#)

[5：「Mi Barcode」を使ってワークシートにJANのバーコードを表示させる](#)

[テクニカル](#) [トップページ](#) | [各種製品のご案内](#) | [製品価格一覧表](#) | [製品の修理について](#) | [お問い合わせ](#)

Technical Corp. Copyright 2001 Technical Crop.